

PDF 無料レポート第 4 巻

## ＜総まとめ＞根源法則と原因と結果の法則

牧村 和幸 著

このレポートは、著作権フリーです。  
引用、転用、転載など、ご自由にお使いください。

※このレポートをダウンロードされた方には、メールにてお知らせや  
ニュースを配信することがございますので、あらかじめご了承ください。

## はじめに

PDF版無料レポートをダウンロードしていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの方と根源法則と気づきの情報を共有したいため、PDF版無料レポート第4巻<総まとめ>根源法則と原因と結果の法則を作成しました。

どうぞお読みください。

なお、内容は、今まで牧村 和幸がいろいろなメルマガで紹介した内容をまとめ、編集して、読みやすくしたものです。何かのお役に立てれば幸いです。

それでは、無料レポートをご覧下さい。

牧村 和幸

## <第 1 篇>

### 根源法則の数々

## ●根源法則の数々

原因と結果の法則を使いこなす方法を紹介する前に、  
この世界を支配している根源法則にはどのようなものがあるのか、  
一つ一つ見ていきましょう。

### 1、原因と結果の法則

これは絶対に忘れていけない根源法則です。  
いいことも悪いことも全て、  
「与えれば、与えられる」のです。

### 2、生命進化の法則

世界の動きは、いつも、  
個々の生命や魂が進化できるように、  
また、それを目標として、動いていくという法則です。

### 3、調和とバランスの法則

世の中には、調和とバランスをとろうという、  
強大なエネルギーが流れています。  
ですから、行き過ぎは必ず正されます。

### 4、利子の法則

すべてにおいて、利子がつきます。  
与えれば、利子がついて返ってきますし、  
取れば、利子をつけて取られます。  
何かを借りれば、利子を取られますし、  
何かを貸せば、利子を取ることができます。

### 5、慣性の法則

電車は急に止まれないという法則です。  
最初と最後は、どんなことでも、  
莫大なエネルギーを必要としますが、  
その中間地点では、  
それほど大きな力を加えずとも、

自動的に進んでいくという法則です。

#### 6、代償の法則

この世の中で何かを手に入れようとする、  
必ず、何かの代償が必要です。  
それは、大変な努力であったり、  
金銭であったり、  
とても辛い出来事を経験することであったり、  
楽しいことを犠牲にしないといけなかったりと、  
さまざまです。

#### 7、十分の一の原理

これは、原因と結果の法則の応用です。  
収入の十分の一を、  
誰かに寄付し続けることによって、  
あなたはどんどん豊かになるという原理です。

#### 8、思考は現実化する

これは、法則というよりは、原理です。  
考えたこと、思ったことは、  
いいことであれ、悪いことであれ、  
あとあと実現するという原理です。  
プラス発想が大切です。

#### 9、陰陽の法則

物事には、必ずプラスとマイナスがあるという法則です。  
物事には必ず、プラスとマイナスと、  
表と裏があります。  
その両方を合わせて、はじめて一つなのです。

#### 10、円と周期の法則

物事は、必ず周期をもっています。  
最終的には、もとの場所に戻るという、  
円のような動きをします。  
そして、1回転するたびに、  
大きなエネルギーを発生します。

そして、いいとき悪いときといった、  
周期の波を描きながら、進んでいきます。

#### 11、万物流転の法則

全ては変化し続けます。  
変化しないものはありません。  
私達人間も、変化し続けたいといけません。

#### 12、類友の法則

類は友を呼ぶ、すなわち、  
似たものが集まってくるという法則です。  
似たようなものは周波数が合うためひきつけられます。

#### 13、エネルギー不滅の法則

エネルギーは不滅であるという法則です。  
エネルギーを消滅させようとしても、それはできないのです。  
変換することならできます。  
私達の靈魂も、エネルギー体であり、不滅なのです。

上記13個の法則があります。  
本当は、原因と結果の法則ひとつだけなのですが、  
その法則から、どんどんと他の法則が派生しています。

さらにどんどん派生して、  
上記13個の法則だけではなく、  
法則は無限に出てきます。  
細則というものですね。

今回は、分かりやすく、上記のようにまとめてみました。  
一つ一つの法則は、  
とんでもなく重要なものばかりなので、  
よくよく注意して見ておいてください。

## 1.原因と結果の法則

さて、この世界の最重要な根源法則について、述べておきます。

「与えれば、与えられる」

これです。

唯一無二の最大最重要法則です。

この法則は必ず理解しておいてください。

そうでないと、全ての行動や思考が、  
おかしい方向にそれてしまうからです。

「与えれば、与えられる」というシンプルな法則。  
原因と結果の法則と呼ばれています。

最近では、

たくさんの書物などでも語られるようになってきています。

しかし、何千年もの昔から、数多の聖人君子、聖者や賢者たちが、  
口をすっぱくして語り伝えてきています。

どういう法則なのか、これは、本当に根源の法則です。

日本の法律などは、国会で審議の末、変更が必要であるとされたなら、  
法律改正が可能です。

憲法改正などは、さらに厳格な手続きを踏みますので、  
改正はとても難しいです。

しかし、変える事は可能です。

ですが、「与えれば、与えられる」

この根源法則は、決して変えることのできない普遍の法則です。

昔から、因果の法則、原因と結果の法則、

蒔いた種は刈り取らなければならない、など、

いろいろな言い方で、語り尽くされてきた法則です。

あなたが、いろいろなことに気づけば気づくほど、

この根源法則の存在をいやというほど、思い知らされます。  
どんな偉い人も、豊かな人も、有名な人も、  
この法則の支配からは逃れられません。  
人だけではなく、動物も植物も、  
はては、鉱物や、月や星でさえもそうです。

とてつもなく厳格であり、正確であり、  
強力であり、宇宙全体を支配している法則です。  
何者も、その法則の支配からは、逃れられないのです。  
いろいろな気づきから、疑問が湧いてきます。  
そして、その疑問の答えがすべて、根源法則に行き着きます。  
長々と書きましたが、  
根源法則があるということをまずは知ってください。  
そして、肌で感じてください。  
時に、カルマの法則とも呼ばれます。

さて、この法則は、観念上の、  
また、あくまでも理論上の法則だなどと考えるはいけません。  
実際に作用しています。

内観が進むと、  
眉間の奥にある、アジナーチャクラと呼ばれるセンターが、  
急に動き出して、火花を散らして開く時が来ますが、  
そのセンターが開いている人には、実際に見えます。  
原因と結果の法則が実際に、  
作用しているところを見ることができます。

このセンターが開いている人は、  
まだまだ、世の中には珍しいと思います。  
数は少ないでしょう。  
このセンター、いわゆる第3の目が開いている人は、  
はっきりと法則の存在がわかります。

しかし、眉間のセンターが開くまでは、  
原因と結果の法則にすべてが支配されているということを、  
観念として知り、

日々の観察から、やはりその法則が流れているということを、実感しながら生活していく必要があります。

あなたが、もし、人を傷つけたなら、  
あなたは、後に、傷つけられることになります。  
その相手から返ってくることもあります。  
そうではなく、ほかの人から返ってくることもあります。  
すぐに返ってくることもありますし、  
しばらくしてから、返ってくることもあります。  
逆に、人に何かしてあげたり、  
喜んでもらえるようなことをしたとします。  
法則がはたらいて、あなたには、  
してあげたこと、喜ぶようなことが、返ってきます。

これは、観察していると、  
おそろしいほど正確に返ってくるのが分かると思います。  
あなたがしたことは、そっくりあなたに返ってくるのです。  
まず、最初に気づかなければならないことは、このことです。

この根源法則は、誰にも変えられません。  
また、誰も彼も、この法則に支配されています。

この法則なしには、生きられないし、  
この法則の外に出ることもできません。

ですから、この根源法則をしっかりと理解し、  
この法則に沿った形で生きていくことが求められます。  
どうすればうまく生きられますか。  
原因と結果の法則にのっとって生きればうまく生きられます。

どうすれば、与えられますか。  
与えれば、与えられます。

## 2.生命進化の法則

この世界には、原因と結果の法則から派生した、「生命進化の法則」というものが流れています。

根源法則は「与えれば与えられる」という、ひとつの法則なのですが、そこから、無数の法則が展開されていきます。その中のひとつに、生命進化の法則があります。

生命進化の法則とは、一体何なのでしょう。

この世界は、生命を進化させるように動くということです。あなたの周りを観察するとよく分かるのですが、この世界は、あらゆる生命を進化させるように、現象を起こします。

人間だけでなく、動植物など、生きとし生けるものすべてに対して、進化させるべく現象が起きてきます。

自然界には、弱肉強食や厳しい自然環境があります。こういった状況では、進化しないと生き残れません。身体のみならず、意識レベルも上がっていかないと、生き残れません。まさに、DNAレベルでの進化が要求されます。

もし、自然環境があまり苛酷でなく、穏やかなものであればどうでしょう。ゆるやかな発達とともに、進化は少し遅れます。

また、人間の環境でも、

食べていかないと生きていけません。  
そのために、集団をつくり、  
食べものが行き渡るように社会がつくられました。  
しかし、その中で、  
やはり競争原理はあいかわらずはたらいしています。

すなわち、他者より優れなければ、  
より多くを獲得することができません。  
このような社会であっても、  
原因と結果の法則からは逃れられませんので、  
どうしても与えた分だけ与えられます。

そのときに、お金、通貨というものが役立ちます。  
与えた分だけ、お金という形で蓄積されます。  
ですから、お金持ちというのは、  
それだけ社会にたくさん与えてきた結果です。  
原因と結果の法則が、厳然と存在し、はたらいしているからです。

さらに、生きていくためには、  
いろいろな問題が起きてきます。  
でも、よく観察すると、  
120%の力を発揮すると、  
乗り越えられるようにうまく問題が発生します。  
これも、生命進化の法則の典型的なはたらきです。

80%で解決できる問題なら、  
人は進化しないからです。  
120%出せば解決できる、  
このくらいの難易度なら、  
人は、困難につぶされずに、  
全力を出せば、乗り越えて進化できるからです。

すべて天の計らいがはたらいしています。

### 3.調和とバランスの法則

この世界には、原因と結果の法則から派生した、「調和とバランスの法則」というものが流れています。

根源法則は「与えれば与えられる」という、ひとつの法則なのですが、そこから、無数の法則が展開されていきます。その中のひとつに、調和とバランスの法則があります。

調和とバランスの法則とは、一体何なのでしょう。この世界はバランスを保っているということです。

あなたの周りを観察するとよくわかるのですが、この世界は、バランスを保つため、強制的に反対のエネルギーがはたらきます。

「過ぎたるは及ばざるがごとし」とは、よく言ったものです。行き過ぎると、必ず戻されます。そのとき、天が元に戻そうとする、大きなエネルギーが発生します。

例えば、たくさん食べて食べて食べ過ぎるとします。当然、おなかを壊し、体調不良に陥って、しばらく何も食べれない状態になります。

さらには、とてつもなくうまくいっている会社や人がいても、あまりに急速に上昇しすぎたときは、何らかの問題やトラブルが発生して、行き過ぎが正されます。ある時間、下降するようなエネルギーがはたらきます。振り子を振ると、また、返ってきますが、

これが、調和とバランスの法則です。

大自然は、行き過ぎを嫌います。  
行き過ぎると必ず正されます。

行き過ぎないように、  
ほどほどにするということを学びましょう。  
そうでないと、お手入れが入ってしまいます。

## 4.利子の法則

あなたが、誰かに何かを与えたとき、  
原因と結果の法則により、  
後々、あなたに返ってきます。

そのとき、利子の法則がはたらき、  
少し多い目に返ってきます。

あなたが、誰かから何かを取ったとき、  
原因と結果の法則により、  
後であなたから、その何かを取られます。

そのとき、利子の法則がはたらき、  
少し多い目に取られます。

このように、すべての現象に、  
利子の法則がはたらきます。  
利子がつくのです。

物事は回転しています。  
そして、利子をともなって、  
その回転の大きさが少しずつ広がっていきます。

銀行にお金を貸すと、少し利子がついて返ってきますね。  
また、銀行からお金を借りると、  
利子がついて、より多くを返さないといけませんね。  
これらは、利子の法則のいい例です。

どんどん与えましょう。  
利子がついて、より多くが与えられます。  
人から取らないようにしましょう。  
さもなくば、利子がついて、  
より多くが取られてしまいます。

## 5.慣性の法則

「慣性の法則」について述べていきます。

電車が動き出すときには、莫大な力が必要になります。  
しかし、ある程度のスピードが出てからは、  
そんなに力を加えずとも、  
自然と電車はある程度のスピードで動き続けます。  
この現象が、慣性というものです。

何でも、最初がとても難しいのです。  
なぜなら、慣性の法則がはたらくからです。  
最初、スタート、これがとてもやっかいです。  
でも、最初がうまくいけば、あとは自動的に進んでいきます。  
ある程度は力を加えずとも勝手に動いていきます。  
慣性の法則がはたらくからです。

さらに、最後もとても大変です。  
やめようとしても、慣性の法則がはたらくので、  
なかなかやめれないのです。  
慣性の法則に逆らって、やめようというのですから、  
これまた、やり始めのとき以上に、  
莫大な力が必要になります。

このように、慣性の法則がはたらいているので、  
どんな物事でも、最初と最後が肝心なのです。

スタートに神経をつかって、準備を怠らないことが、  
万事にわたって大切なことです。  
さらに、何かをやめるとき、方向転換するときも、  
最大限の神経を使って、大きな力を加えて、  
方向転換が必要です。

悪い習慣なども、なかなかやめられません。  
慣性の法則がはたらいているからです。

ですから、一大決心が必要です。

何かを始めるときと、やめるときに、  
失敗やトラブルが多いです。

なぜなら、慣性の法則がはたらくからです。

最初と最後、ここをきちんとおさえることができれば、  
その物事はうまくいきます。

## 6.代償の法則

この世界には、  
代償の法則が流れています。

これはどういうことかと言いますと、  
何かを手に入れるためには、  
それなりの代償が必要であるということです。

これは何でもそうです。  
たとえば、何かの試験に合格するためには、  
勉強するという努力が必要です。

さらに、勉強時間をつくりだすために、  
TVを見る時間とか、趣味の時間や、睡眠時間を削ったりします。

このように、何かの代償、  
時には犠牲を払うことによって、  
それ相応のものを手に入れることができるのです。

どんなことでもそうです。  
棚からぼた餅のようなことは、実際には起こりません。  
もし、そう見えるようなことが起こっても、  
それまでに必ず、それなりの代償を払ってきています。

内観においても同じです。  
内観をすすめ、チャクラを活性化し、  
観察者が本来の力を取り戻すためには、  
絶えず自分に気づいている、  
自分を観察し続けるという代償が必要です。

最初のうちは、  
内観はとても大変です。  
自分を観察していても、  
すぐに忘れてしまうからです。

そこで、はっと気づいて、また内観を続けるしかありません。

最初は、とても大変です。

とても疲れます。

でも慣れるにしたがって、

努力なしで、自然に内観することができるようになります。

そして、内観によって、

さまざまな能力開花が引き起こされるのです。

何かを手に入れるためには、

必ず代償が必要です。

特に内観を成就するには、

日々の自己観察という、

大変な作業が、どうしても必要になってきます。

諦めないで続けていきましょう。

## 7.十分の一の原理

十分の一の原理って何でしょうか。

これは、昔のヨーロッパで実践されてきた慣習のひとつです。  
昔のヨーロッパの人たちは、  
収入の十分の一を教会に寄付していました。  
そして、収入の十分の一を寄付することによって、  
寄付した人達も豊かになっていきました。

昔のヨーロッパでは、そういった習慣がありました。  
そして、その原理は、今でも通用します。

収入の十分の一を誰かに寄付することによって、  
寄付した人は、ますます豊かになっていきます。

なお、十分の一という数値には、特にこだわる必要はありません。  
しかしながら、十分の一というのが、一番続けやすく、  
バランスのよい配分でしょう。

また、寄付する相手は、教会でなくてもどこでもいいのです。  
昔のヨーロッパでは、  
キリスト教が生活に大きな影響を与えていましたので、  
教会に寄付することが多かったようです。  
でも今は、教会でなくても、  
慈善団体でも赤十字でもユニセフでも、知り合いの人でも、  
誰でもいいのです。

収入の十分の一を誰かに寄付し続けることによって、  
あなたは確実に豊かになっていきます。

この原理の奥底には、やはり、  
原因と結果の法則がはたらいしています。

与えれば、与えられるのです。

しかも、利子をともなって。

あなたの周りの豊かな人を良く見るとわかります。  
彼らは、決まって与え好きです。  
大富豪と言われる人達は、  
必ず社会に有益になる形で、寄付を行っています。  
仕事を通して自分の能力からつくりだすサービスを与えること、  
持っているものを与えること、  
愛情を与えること、  
などなど、いろいろなものを与えることが好きです。

豊かになるにはどうすればいいのでしょうか。  
どんどん与えればいいのです。  
利子をともなって、あなたに必ず返ってきます。

仕事を通して、サービスや価値をどんどん与えましょう。  
社会に与えるサービスの価値を上げるため、  
自分の技術をどんどん磨きましょう。  
また、持っているものもどんどん与えましょう。

十分の一の原理は、原因と結果の法則の応用原理です。  
十分の一の原理をうまく活用してください。

あなたは、どんどん豊かになっていきます。

## 8.思考は現実化する

思考について、述べていきます。

世間では、プラス発想や、良いことを想うということが、しきりに言われています。たくさん本が出ています。さらには、たくさんプラス発想のセミナーなども開催されています。

こういったものはどうなのでしょう。私も大賛成です。プラス発想を心がけましょう。

思考を観察しているとわかりますが、ある思いが頻繁に浮かぶとき、しばらくしてから、本当にそのことが起こることがしばしばです。

さらに、いろんな人を観察していると、確かに、病気がちな人はどこが悪い、かしこが悪いといつも言っています。逆に、うまくいっている人は、前に進むことしか考えていません。

マイナス発想は、できるだけやめましょうね。心配ばかりしていると、本当にそうなってしまいますよ。周りにも、伝染させてしまいます。なぜなら、思考は現実化するからです。

例えば、祈りというものがあります。一般にお祈りというものがありますね。

危機に陥ったときなど、誰でも、神頼みなどしますね。神様、助けて！って。

お祈りというものは、プラス発想の極みなのです。また、白魔術というものも、プラス発想の極みですね。

逆に、黒魔術というものは、マイナス発想の極みと言えます。

お祈りは、実に効果的なものです。  
しかも、自分のことだけじゃなくて、  
他の人のことも良くなるように考える。  
さらに、声に出して祈るから、効果は大きいです。

世界が良くなるようにと祈る。  
大勢のプラス発想が寄り合えば、大変な力になります。  
本当に世界は良くなります。

もし時間があるなら、  
世界が良くなるようにって、祈るのもいいですよ。  
あなたの心も豊かになるし、  
実際の効果もある。  
さらには、原因と結果の法則により、  
あなたにもいいことが返ってきます。

思考の力は、馬鹿にしないほうがいいですよ。  
とても強力です。  
はじめに言葉ありきです。

内観が進むと、あんまり考えなくなります。  
無思考です。  
必要なときだけ考える。  
ですから、あんまりぶっそうな考えがないし、  
無の時間が長いですから、  
結構、周りの環境は平穩そのものになっていきます。

プラス発想で、前向きでやっていきましょう。  
あなたの周りの人達も、プラス発想で良い方向に、  
引きずっていきましょう。

## 9.陰陽の法則

この世界には、陰陽の法則が流れています。  
プラスとマイナスの法則です。

どんな物事にも、  
プラスとマイナスがあり、  
表と裏があります。

そして、プラスとマイナス、  
表と裏、  
そのふたつがあって初めて、  
ひとつとして、存在できるのです。

ですから、物事のいい面だけ、  
プラス面だけで判断してはいけません。  
必ずマイナス面を考慮に入れましょう。

そして、必ず裏があります。  
表だけを見て判断してはいけません。

よく効く薬には、大きな副作用があります。  
とても効果のある方法には、犠牲が伴います。  
いいときがあれば、必ず悪いときもあります。

そして、二つとも受け入れると、  
その効果的な方法を認識できます。

プラスとマイナスがあれば、  
そこにエネルギーが生まれ、  
電流が流れるからです。

何かを行うときは、  
必ずメリット、デメリット、  
プラスとマイナス、

表と裏を考えておきましょう。

その上で、副作用をどうするか、  
対策をたてた上で進めていくと、  
大過なく進めることができます。

プラス面、表面だけを見て行動すると、  
大失敗をしてしまいますよ。

注意が必要です。

## 10.円と周期の法則

この世界には、  
円と周期の法則がはたらいています。

すべての物事は、円運動を繰り返します。  
原子の周りを回る電子、  
太陽の周りを回る地球、  
自転する地球などなど。

私達の生活もそうです。  
朝起きて、ご飯を食べて準備して、  
仕事に行って帰ってきて、  
眠りについて、  
また朝起きて・・・  
を繰り返し、円運動を行っています。

そして、周期があります。  
人間の場合もそうです。  
すべての物事には、  
波があり、変化があり、  
そして、その変化には一定の周期があります。

円運動を繰り返し、  
1回転するごとに、  
あるエネルギーを生み出します。

そして、少しレベルアップして、  
次の回転が始まります。

日常生活を観察すると、  
この法則が如実に現れています。

仕事に行って、家に帰り、  
眠りについて、朝起きて、

情報を仕入れて、情報をはき出して、  
息を吸って、息を吐いて、  
大勢の人達と関る時間があるって、  
一人孤独な時間があるってと・・・・・・・・。

そして、1つの回転ごとに、  
何かが生み出され、  
少しずつレベルアップしていきます。

繰り返しの中に成長の種があり、  
少しずつ、円が大きくなっていくのです。

そして、少しずつ、円の質が高まっていくのです。

## 11.万物流転の法則

この世界には、万物流転の法則が流れています。  
全ては変化し続けるのです。

自然界だけでなく、動物、植物、鉱物など、  
そして、人間界も含めて、  
絶え間なく変化し続けています。

変化を止めたものは、破壊され、再生という  
変化にのみ込まれていきます。

全てが変化し続けるように造られているのです。  
そして、変化し続けることは、誰にも止められません。

もちろん、速い変化、ゆっくりな変化など、  
変化のスピードに違いはあるでしょう。  
しかし、全ては変化するのです。

人間界も例外ではありません。  
天使の世界、神の世界も同じく変化し続けています。

絶えず学び、変化し続けるよう努力しましょう。  
変化しないと、取り残されます。  
なぜなら、万物は変化するからです。  
万物流転の法則には、誰も逆らえません。

受け入れる、受け入れないに関わらず、  
全ては変化するのです。

人間だけでなく、  
大自然のありとあらゆるものが変化します。

ですから、変化を拒んだときは、  
大宇宙、大自然への反逆となります。

それゆえ、滅び去り、消え行くことになるのです。  
そして、強制的に再生産の材料とされてしまうのです。

変化を嫌うのは分かります。  
それは大変なことですし、  
痛みを伴うことです。

でも、その大変さ、痛みから逃げたとき、  
滅亡が口を開けて待っているのです。

組織、個人を問わず、  
変化し続ける覚悟を決めましょう。

## 12.類友の法則

この世界には、類友の法則が流れています。

こういった法則かといいますと、  
類は友を呼ぶ、すなわち、  
似たものが集まってくるという法則です。

この法則も、  
原因と結果の法則から派生しています。

原因から、結果を生み出すためには、  
やはり、似たものが集まる方が、  
効率がいいからです。

たとえば、人にガミガミ言う癖のある人がいるとします。  
そうすると、いずれ、  
他者からガミガミと言われるという、  
結果がその人に返ってきます。

そこで、天からすると、  
その結果を返すためには、  
その人の周りに、  
やはりガミガミと他者に言う人を配置する方が、  
結果を現しやすいのです。

このような次第で、  
似たようなものが集まっていきます。

波動が合う、周波数が合うので、  
ひきつけられるという理由もあります。

類は友を呼びますので、  
あなたの周りを見れば、  
あなた自身がどんな人物なのかがわかります。

もし、嫌な人物が周りに多いのなら、  
それがあなた自身の中に存在する性質です。

どんどんと改めていきましょう。  
そうすれば、周りも変わっていきます。  
環境も変わっていきます。

もし、素晴らしい人物が周りに多いのなら、  
あなた自身が素晴らしい人物なのです。  
そのために、素晴らしい人物をひきつけているのです。

類友の法則を使って、  
周りの環境をよい方に変えていきましょう。

## 13. エネルギー不滅の法則

エネルギーは永遠に不滅です。

学校の物理の時間に、  
エネルギー等価の法則を習ったと思います。  
この法則は、実生活にも影響を与えています。

全てのエネルギーは、  
消滅させることができないのです。  
できるのは、形を変えることだけです。

私達の命は、尊ぶべき生命エネルギーの塊です。  
そして、エネルギー不滅の法則から、  
私達の命も、消滅することはないのです。

命は永遠です。  
死が訪れても、エネルギーの形が変わるだけです。

霊魂は永遠に生き続けますし、  
肉体は土に返って、存在し続けます。

また、感情エネルギーも同じです。  
怒りやマイナスの感情を無くそうと思っても、  
消滅させることはできないのです。

ですから、抑えつけていると、いつか爆発します。  
違うエネルギー、プラスのエネルギーに  
変換させる努力が必要なのです。

生命の永遠性を実感しましょう。  
そして、感情エネルギーを愛や勇気、希望などの  
プラスのエネルギーに変換する術を学びましょう。

なぜなら、エネルギーは永遠に不滅だからです。

違う種類のエネルギーに、  
変換することが、できるばかりです。

## <第2篇>

原因と結果の法則を使いこなす方法

## 1.原因と結果の法則とは何か

以上、それぞれの根源法則について見てきました。  
それでは、いよいよ原因と結果の法則を使いこなす方法を述べていくことにしましょう。

まず、原因と結果の法則とは何か、  
というところから、始める必要があります。

原因と結果の法則は、因果の法則、  
カルマの法則とも呼ばれてきました。

そして、根源の法則であるため、  
たくさんの人達に語り継がれてきました。

最近も、原因と結果の法則に関する書物が  
多く出版されています。

すべての人が、この法則を理解し、  
実践して生きていくことを願ってやみません。

もし、すべての人が、この法則にしたがって生きれば、  
争いは極端に少なくなるでしょう。  
また、すべての人が豊かになります。  
そして、他に奉仕する幸せを感じながら、  
ゆったりと生きていけます。  
法律もいらなくなってしまうでしょう。

原因と結果の法則とは、どんなものなのでしょう。  
簡単に言ってしまうと、  
与えたものだけが、与えられるということです。

反作用の力がはたらき、  
必ず、自分に返ってくるということです。

何かを他者に対して行えば、  
必ず、自分に返ってきます。  
しかも、利子をともなって返ってきます。

まずは、この根源法則が、  
この世界に流れているということを、  
理解してください。

とてもとても重要な法則です。

## 2.原因と結果の法則を使って考える

原因と結果の法則は、森羅万象すべてに等しく作用します。  
ですから、万人に通用するし、あらゆる物事に通用します。

何か良くないことが起こった場合、  
なぜ、その出来事が起こったか、  
普通はいろいろと考えて反省します。

でも、そのまま真の原因が分からないまま、  
忘れてしまうことも多いです。  
また、考えに考えた結果どおりに改善しても、  
何も変わらず、また同じことが  
繰り返されてしまうことも多いです。

原因と結果の法則から外れて考えていきますと、  
結果や対策も、真理からずれてしまうので、  
どうしても改善策が効果のないものになってしまいます。

ですから、何か良くないことが起こったら、  
原因と結果の法則にあてはめて考えましょう。  
すべての物事は、原因と結果の法則に行き着きます。

たとえば、あなたが信用を失い、大切な人から  
見放されたとします。  
しばらく、落ち込み、悩むことでしょう。

しかしながら、そんなときには、  
原因と結果の法則を使って考えてみます。  
なぜ、信頼を失い、見放されてしまったのか。

一般的に考えると、信頼を失うような行動を  
とったことが原因です。  
期待を裏切ったとか、約束を守らなかったとか。

でも、原因と結果の法則からみると、  
これは、過去に、あなた自身が、  
誰かに対して信頼を無くし、見放したことに  
原因があります。  
それが返ってきているのです。

ですから、改善策としては、  
まずは他者の信頼を失わないように、  
期待を裏切らないこと、約束を破らないことです。  
さらに、あなた自身が、他者を信頼し続け、  
そう簡単には他者を見放さないようにすればいいのです。

難しいことではありますが、他者を簡単に  
見放さないことを心がければ、あなた自身も、  
原因と結果の法則により、そう簡単には  
見放されない、信頼を失わない人物になっていきます。

他者を信頼し続けることができれば、  
あなたも他者から信頼され続けます。

もちろん、実際に実行するのは、なかなか難しいことです。  
ここに、人間修行の大変さがあります。

より、寛容にならなければ、  
より、根本から他者を信頼する心を養わなければ、  
うまくいかないでしょう。  
人を心から信頼する心を養う必要があります。

しかしながら、約束を破ったり、ルーズな人達が  
周りに多い場合は、他者を信頼し続けることは難しくなります。

そこで、あなた自身が信頼に足る言動をとっていくことが  
求められます。  
あなた自身が信頼に足る言動を取り続けていると、  
原因と結果の法則により、あなたの周りの環境は、  
信頼に足る人達の多い環境に変わっていきます。

そうなる、人を信頼することが、  
より簡単になっていきます。

結局は、どうすればいいのかというと、  
他者を信頼し続けること、  
そして、自分自身が信頼に足る言動を心がけていくこと、  
この2つが必要になってくるのです。

このように、原因と結果の法則から答えを導くと、  
とても効果的な解決策が見つかります。

一度、試してみてくださいね。

### 3.原因と結果の法則を人間関係に応用する

原因と結果の法則は、森羅万象すべてに等しく作用します。  
ですから、万人に通用するし、あらゆる物事に通用します。  
もちろん、人間関係にも応用できます。

人間関係に応用する場合は、まず第一に、  
あなたは相手にどうしてほしいのか、  
どうしてほしくないのか、  
これをはっきりさせる必要があります。

みな、他者から好かれない、  
傷つけられたくないと思っています。

でも、それ以外の内容になると、  
人それぞれ若干の違いがあるので、  
まずは、自分はどうしてほしいのかを、  
はっきりとさせる必要があります。

そして、次に、自分がしてほしいことを、  
自分からすすんで、周りの人にしていくのです。

どういうことかと言いますと、  
自分のしてほしいことを、  
まずは、自分から行うということです。  
そして、行い続けるということです。

そうすると、しばらくしてから、  
原因と結果の法則により、今度は、  
あなたがしてほしいことが周りから返ってきます。  
これが全ての根本です。  
この行動を大きく展開した人が、成功者となっていきます。

どんどんと繰り返していくと、  
あなたがしてほしいことが周りから

どんどんと返ってきます。

また、逆に、人間関係において、  
自分がされたくないことは、  
他者にもしないようにしましょう。

これをきちんと続けていけば、  
他者から、自分がされたくないことを受けることが、  
どんどんと少なくなってきます。

もちろん、ある程度の時間がかかりますので、  
根気が必要です。  
でも、必ず返ってきますので、何度か繰り返していくと、  
法則に対する確固たる信頼が湧き上がってきます。

人間関係に原因と結果の法則を応用する場合も、  
原因を管理してしまえば、結果は後からついてきます。

ですから、自分のしてほしいことをはっきりさせ、  
自分から周りに、そのことを行っていくのです。

そして、自分のしてほしくないことをはっきりさせ、  
自分から周りに、そのことを行なわないよう  
気をつけていくのです。

きちんと実践さえすれば、  
とんでもないスピードで、あなたの人間関係は  
良好になっていきます。

まずは、試してください。  
そして、コツをつかんでください。  
実際に返ってくるので、最初の内は驚くと思いますよ。

## 4.世の中はなぜ厳しいのか

世の中は、なぜ厳しいのでしょうか。

それは、原因と結果の法則が流れているからです。

自分のしたことが、必ず自分に返ってくるからです。

原因と結果の法則は、とても厳しいものです。

必ず、自分に返ってきます。

家柄や人種、身分など、

まったく関係ありません。

自分のしたことだけが、ただただ返ってくるのです。

このように、この世界を支配している

根源法則が厳しく作用するので、

この世の中は、こうまでも厳しいのです。

ですが、原因と結果の法則以上に

厳しいものではありません。

原因と結果の法則に慣れ親しみ、

その厳しさに触れていけば、

世の中はそれほど厳しいものとは、感じなくなります。

厳しさの基準を、

原因と結果の法則に置きましょう。

そうすると正確です。

その厳しさの基準は、

そっくりそのまま、世の中でも使えます。

原因と結果の法則を身につけ、極めて行きましょう。

その過程で、世の中は、厳しいものから、

平安で安らげるものへと、変わって行きます。

世の中を厳しいものにするのか、  
そうではないものにするのか、  
それは、あなたの生き方次第です。

原因と結果の法則にしたがって生きていけば、  
世の中はとても生きやすくなります。

逆に、原因と結果の法則を踏み外して生きていけば、  
この世の中は、いばらの道を歩むがごとく、  
厳しいものとなるでしょう。

## 5.収入は社会に対する貢献度

収入は、得よう得ようとしても、  
なかなか得られないものです。

しかし、どんどんと与えることを行っていくと、  
自然と増えてくるのが収入です。  
なぜなら、原因と結果の法則がはたらいっているからです。

収入とは、社会にあなたが与えた価値が、  
返ってきたものです。

ですから、収入は、あなたが社会に与えた  
貢献の度合いと言えます。  
他者への役立ちの量を表します。  
収入は、バロメーターと言ってもいいでしょう。

また、社会にどんどんとサービスや価値を与えていると、  
しばらくは、返ってこないように見えますが、  
少し遅れて、必ず返ってきます。

でも、与えたものが、価値の低いものなら、  
やはり、それ相応のものしか返ってきません。

収入はあなたの社会への貢献度を表してくれる、  
バロメーターとなってくれます。

あなたが社会にサービスをした分、  
社会はあなたにサービスをしてくれます。

## 6.うわさを管理する

よく観察しているとわかることですが、  
人間関係においては、うわさがついてまわります。

いいうわさが流れればいいですが、  
たいていは悪いうわさです。

でも、同じ様なことをしていても、  
ある人は、良いうわさをたてられ、  
またある人は、悪いうわさをたてられる、  
という違いがあります。  
これはどういうことでしょうか。

やはり、ここにも、  
原因と結果の法則がはたらいています。

自分のやったことは、  
必ず自分に返ってくるのです。

人のうわさをすることが好きな人は、  
自分もうわさされていることに気づきましょう。

人の悪口を言う人は、  
自分も悪口を言われていることに気づきましょう。

人を良く言う人は、  
自分も良く言われていることに気づきましょう。

必ず、自分に返ってきます。  
これは、厳然たる法則です。

これらのことに気づけば、  
うわさは管理できます。

まず、悪口は、一切やめましょう。  
陰口もやめた方がいいでしょう。  
自分自身があとで陰口を言われることになるだけです。

できるだけ、他者のいい点を見つけ、  
いい点を話しましょう。

できるだけ、うわさや陰口はやめましょう。  
もし、うわさをしないといけない場合でも、  
いい点のみをうわさしましょう。

人の欠点や悪い点を考えないようにしましょう。  
人を憎まないようにしましょう。  
悪く考えただけでも、悪いうわさとして、  
はね返ってくる場合があります。

このように、原因と結果の法則をうまく活用しますと、  
うわさもある程度は管理できるようになります。

## 7.法則に従っている者を、法則に従っていない者が 攻撃しても失敗する

古代中国の兵法には、道理に従っていない国が、道理に従っている国を攻めると敗れるとあります。

これは、人間関係にも応用できます。  
普段から原因と結果の法則に従って生活していきましょう。

そうすると、他者から攻撃されても、難なくかわすことができます。

なぜなら、原因と結果の法則に従っていれば、相手が攻撃できないからです。

どういうことかと言いますと、日頃から、他者を攻撃したり、他者を傷つけたりしていない人は、負の原因がないので、結果として、攻撃されることはありません。

ですから、もし、相手が攻撃しようとしても、攻撃できないという状態になります。

言い換えれば、原因と結果の法則に守られているのです。また、原因と結果の法則にしっかりと従って生きていれば、そもそも攻撃をしかけられたり、争いに巻き込まれたりもしなくなります。

攻撃を受けたり争いごとが発生するなら、まだまだ精進が必要です。

原因と結果の法則から、まだ少し外れていると考えられます。

道理に従いましょう。

周りは、あなたにひとつも手を出すことはできなくなります。

もし、負の原因がまったく無いところまで精進できれば、  
たとえ戦場に行ったり、暴力の真っ只中に行っても、  
まったく無傷で、帰ってくることができます。

もちろん、その際に、自分から攻撃してしまえば、  
負の原因が新たにつくられますので、  
無傷では帰って来れなくなりますが…。

## 8.人に好かれるためには

人に好かれると物事がとてもうまく運びます。  
また、人に好かれると、人生はとても楽しいものです。  
では、どうすれば人に好かれるのでしょうか。

この世界には、原因と結果の法則が流れています。  
ですから、あなたの行ったことは、  
必ずあなたに返ってきます。

この法則を応用すれば、あなたが人に好かれるには  
どうすればいいか、答えが出てきます。

あなたが、まずは人を好きになればいいのです。  
どんどん人を好きになりましょう。  
人を愛することは、良いことです。

あなたにも、すぐに返ってきます。  
あなたも好かれるようになっていきます。  
まずは、あなたから人を好きになっていきましょう。

たとえば、恋愛などでも、  
好きになった方がいいのです。  
待ってても仕方ありません。

また、好きになってもいいのかと  
迷う必要はありません。  
躊躇する必要はないのです。

ただ、既婚者やパートナーのいる人は、  
浮気はできるだけしない方がいいと思います。  
なぜなら、あなた自身にも返ってきて、  
あなた自身も浮気をされることになるからです。

しかし、まずは、自分から人をどんどん好きに

なりましょう。

いわゆるモテる人をよく観察してみましょう。

その人たちは、いつも誰かを好きです。

いつも他者を愛しています。

それが、その人にも返ってきているのです。

たとえば、美しさの輝きを内面から放つ女優さんなど、

素晴らしい美しさで周りを魅了するときは、

たいてい好きな人がいるときです。

必ず、そんなときは、意中の人があります。

それが、返ってきているのです。

まずは、自分から、人を好きになりましょう。

どんどん好きになりましょう。

あなたにそれが返ってきて、

たくさんの人から好かれるようになっていきます。

ただし、あなたが愛した人物から愛されるとは限らず、

他の人から愛されることもあります。

どちらにしても、どんどんと他者を愛していきましょう。

さらに成長してくれば、

人間として人類としても愛していきましょう。

## 9.自分の周りには、過去の自分がいる

人間関係において、あなたの周りの人たちは、  
あなたに対していろいろなアクションを起こしてきます。

親切にしてくれたり、  
感謝してくれたり、  
声をかけてくれたり、  
怒ったり、  
文句を言ってきたり、  
悪く思ってきたり、  
よく思ってくれたり、  
食事に誘われたり、  
協力してくれたり、  
拒絶されたり・・・などなど。

いろいろありますけれど、  
周りの人たちは、あなたに対して、  
いろいろなアクションを起こしてきます。

生きていて、生活をしていれば、  
当たり前のことです。

でも、よく観察していると、  
あることに気づくはずです。

「あれ、あの人は私にこのようなことをしたけれど、  
以前、私も誰かに同じ様なことをしたよなあ」と。

そうです。  
過去にあなたが、他の人にやってきたことが、  
そっくりそのまま、周りの人から、  
あなたに返ってきているのです。

内観を行っていると、嫌というほど、

そのことに気づいてしまいます。  
原因と結果の法則が厳格に作用しているからですが、  
あなたが他者に対して行ったことは、  
必ず、あなたに返ってきます。

同じ人からではないときもありますが、  
必ず、誰かから返ってきます。

日本のことわざには、  
「人のフリ見て、我がフリ直せ」  
という、とても興味深いことばがあります。

自分の欠点や、至らない点、  
他者に対して思いやりを欠けていたところなど、  
完全ではない部分が、あなたにそっくり返ってくるのです。

さて、どうすればいいでしょうか。

もし、あなたが、他者からうれしいこと、  
喜ばしいことを受けたなら、  
それは、過去の自分が他者に行ってきたことです。  
その行為は、もっともっと行っていきましょう。

逆に、あなたが、他者から傷つけられたり、  
陥れられたりしたなら、  
それは、過去の自分が他者に行ってきたことです。  
今のままでは、繰り返しあなたに危険が降りかかってきます。  
すぐに、そのような行為は改めましょう。  
良い行為へと、切り替えましょう。

このように、他者から自分の至らない点を見て、  
いいものは伸ばし、悪いものはいいものに変換しながら、  
生活していきましょう。

そうすることによって、あなたは、  
結局は他者のみならず、自分自身をも

大切にしていることになるのです。

そして、自分自身を守るために他者に配慮し、  
他者に思いやりを向け、他者を傷つけないよう  
注意していく過程で、あなたは愛の人へと  
大きく成長していくことでしょう。

## 10.固定観念を捨て、根源法則から判断する

世の中には、常識というものがあります。  
常識というものは、世間一般の通常考え方というもので、  
多分に固定観念を含んでいます。

でも、常識は、絶対的なものではありません。  
時代の流れによって、どんどん変わっていきますし、  
国によっても、常識は全く違ってきます。

ですから、常識とは、社会生活を営んでいくための、  
その地域、その時代での標準的な考え方や目安なので、  
絶対に従わなければならないものではないのです。

あくまでも、その常識に従うと、  
生きていく上で便利であるというだけのことです。

常識は、生きて行く上での、  
たいへん便利な情報ツールなのです。

しかし、常識に振り回されると苦悩がはじまります。  
トラブルが生じます。  
常識というものは、あまり深刻に考えない方がいいでしょう。

どんどん変わるし、マスコミに簡単に  
つくりかえられたりするからです。

できれば、根源法則から考えるクセをつけましょう。  
なぜなら、それは普遍のものだからです。  
過去にも通用してきたし、未来永劫、通用するものです。

根源法則をもとに思考を組み立てていくと、  
考え方そのものが、真理にしっかりと根ざしたものとなります。

そうすると、とてもたくさんの常識の嘘に気づきます。

固定観念も、ガラガラと音をたてて崩れていきます。

根源法則をもとに考えていくと、  
今まで常識と言われてきたけれど、  
根拠がないじゃないかとか、  
間違っただ常識が多いじゃないかとか、  
たくさんすることに気づきます。

常識に振り回されないようにしましょう。  
常識は、生活していく上でのツールとして、  
うまく利用していくべきものです。

常識は、多くはその時代や国、地域でしか  
通用しません。  
さらには、間違っただ常識もたくさんあります。  
間違っただ常識には、自分を犠牲にしてまで、  
従う必要はないのです。

根源法則から思考を組み立てなおしましょう。  
そうすれば、真理に根ざした知識を生み出せます。  
そして、いつの日か、それが常識となるでしょう。

## 11. 全ての人を許せるようになろう

人には誰も、許せないことがあります。  
例えば、過去にある人にやり込められて、  
どうしても許せないとか、  
ある人にだまされ、どうにも許せないとか…。

許せないことはたくさんあります。  
そして、そういった感情は、  
人間として、自然なことです。

しかし、この世界には、原因と結果の法則が流れています。  
それを厳粛に受け止めると、  
他者を許せるように成長していく必要があります。

なぜなら、他者を許さない人は、  
自分も許してもらえないからです。  
必ず、自分に返ってきます。

どうしても許せないことは、仕方ないと思います。  
しかし、少しずつ、許せるようになっていきましょう。

そうすると、あなたも次第に、  
周りから許されるようになっていきます。

他者からの仕打ちは、以前あなたが誰かにしたことが  
返ってきています。  
そのことを理解すると、他者を許す心が湧いてきます。

できるだけ多くを許しましょう。  
それが難しいことは、私も十分に分かっています。

しかし、少しずつでいいので、  
許す心を育てていきましょう。  
許すことができれば、あなたも許されます。

そして、大きくて広い心を  
手に入れることができます。

大きくて広い心を手に入れれば、多くの人達が、  
あなたを慕い、集まってくることでしょう。

それはまるで、大海に流れ込む川の水のように。

## 12.根本を放っておいては物事は解決しない

生きてると、さまざまな問題が出てきます。  
しかし、問題の原因をつかみ、  
根本的な部分を変えないと、問題は解決しません。

たとえば、草を切っても、  
根が残っていれば、また生えてきます。  
根を引き抜くまでは、同じことが繰り返されます。

さて、我が身にふりかかる問題の原因は全て、  
自分の過去の思考、感情、行動にあります。

それがそっくりそのまま  
自分に返ってきているのです。  
原因と結果の法則が作用しています。

すでに行ってしまったことが原因となり、  
結果が返ってきている場合は、どうすることもできません。  
我が身に受けて、解消するしかありません。  
忍耐で切り抜けましょう。

そして、さらに新たな負の原因をつくらないように、  
注意しましょう。  
できることはそれだけです。

新たな負の原因をつくらぬことに、  
しっかりと注意していれば、  
次第次第に、環境が好転していきます。

## 13.従うべきルールの優先順位

世の中には、様々なルールがあります。  
そのルールには、どのような優先順位があるのでしょうか。

- 1、原因と結果の法則
- 2、憲法
- 3、法律
- 4、条例、規則
- 5、会社や組織のルール
- 6、家庭のルール

このようになるのではないのでしょうか。  
原因と結果の法則は、憲法よりも上位にあります。  
国連の採択する各種ルールよりも上位にあります。

原因と結果の法則の上はありません。  
原因と結果の法則が最上位にあり、  
宇宙そのものが、その法則に支配されています。

原因と結果の法則に従っていれば間違いありません。  
最も優先して守っていきましょう。

そして、次は、憲法や法律、条例や規則です。  
みんなで頭をひねって作ってきたルールです。  
刑法の罰則などもありますので、  
憲法違反、法律違反、条例違反、規則違反にならないように、  
よくよく注意しましょう。

その上で、会社や組織のルールを守っていきましょう。  
社内ルールでおかしなものが結構ありますね。  
明らかに根源法則とずれていたり、法律違反のルールであれば、  
変えていく必要があります。

さらに、家族間でのルールですが、

これは家庭ごとに違いますので、  
とんでもないルールや家訓などがあります。

でも、原因と結果の法則にあわないルールや、  
法律違反となるルールは、守る必要はありません。

早いうちに変えてしまいましょう。

## 14. うまくいったときは全て周りのおかげ

何かがうまくいったときは、  
自分の努力もありますが、  
多くは周りの人達の協力があったので、  
うまくいったのです。  
周りに大いに感謝しましょう。

何かがうまくいかなかったときは、  
すべて自分のせいです。  
自分の努力が足りなかったのです。  
現状認識が甘かったのです。

実際には、周りのせいでうまくいかなかったり、  
自分のおかげでうまくいったと  
思いたくなる時もあります。

でも、そんなときでも、物事の奥深く、  
本質を見抜けば、理解できるでしょう。  
うまくいけば、周りのおかげなのです。  
一人の力でできることなど、限られています。  
周りに感謝しましょう。

また、うまくいかなかったら、自分の責任なのです。  
周りのせいではありません。

うまくいったとき、周りに感謝すると、  
周りの人達はうれしくなって、  
さらにあなたに協力したくなります。

うまくいかなかったとき、  
自分の責任と考えると、周りの人達は、  
あなたに対して、なかなかしつかりとした、  
信頼のおける人物だという感情が湧き、  
さらにあなたに協力したくなります。

また、原因と結果の法則により、  
うまくいけば自分のおかげ、うまくいかなかったら  
他人のせいだと考える人の周りには、  
その人から手柄を取り上げ、責任をなすりつけようという  
人達が集まってきます。

もし、うまくいかないのは周りのせいだと感じて、  
うまくいったのは自分のせいだと感じて、  
それは根源法則にのっとっていない考え方ですので、  
周りに感謝し、自分に責任を引き受けていきましょう。

そうすれば、原因と結果の法則により、  
あなたに手柄をたてさせようとする人達や、  
責任感のある人達が、  
あなたの周りに集まってきます。

そして、全てがうまくいくようになっていきます。

## 15.善行を行うのに躊躇してはならない

人の心の内には、必ず良心があります。  
どんな悪人でも、どんな犯罪者にも、  
必ず良心があります。

これは、人間のつくりですから、  
良心が全くない人はいないのです。

全くないように見える人がいても、  
心の内にある、良心という鏡が、  
曇ってしまっているだけなのです。

曇りを拭き取って磨けば、  
また、良心は輝き出します。

さらに、現代の日本なら、  
良心にあふれる方々がたくさんいます。

最近、生まれてきた子供達や、  
これから生まれてくる子供達は、  
とても清らかな心の持ち主が多く生まれてきています。  
また、どんどんと生まれてきます。

日本全体の波動が、ずいぶんと高く、  
調和の取れたものになってきたためです。  
そして、そのような子供達が大きくなって、  
本当に素晴らしい日本がやってきます。

精神面において、世界をリードできる  
素晴らしい国になっていきます。

これからは、良心を素直に、  
そのままに表現していくべきです。

今までは、なぜか良心の通りに表現するのが、  
何か恥ずかしいことのような風潮がありました。

しかし、原因と結果の法則が理解されるにつれて、  
良心のままに行動するのが、当たり前時代になってきます。

そして、社会は、愛にあふれた素晴らしいもの  
になっていくのです。

良心のままに行動するくせを、  
少しずつ付けていきましょう。  
そうしないと、時代に乗り遅れますよ。

良心から出た行動、すなわち善行は、  
躊躇せずに、どんどん行っていきましょう。

原因と結果の法則により、  
全て自分に返ってくるのですから。

## 16.家庭と職場はつながっている

よく観察しているとわかることですが、  
職場で何かとトラブルが多い人は、  
家庭生活でも問題やトラブルをかかえています。

反対に、家庭生活で何かとトラブルが多い人は、  
職場でも問題やトラブルを起こしがちです。

なぜかという、家庭と職場は、  
奥深いところではつながっているからです。

原因と結果の法則が流れています。  
ですから、職場でいろいろな人に対して行ったことは、  
必ずあなたに返ってきます。

職場で返ってくればまだいいのですが、  
原因と結果の法則は、返ってくる相手が違うことが多いのです。

ですから、職場でのトラブルによる影響が、  
家庭に帰ってから、家族から返ってくることがよくあります。

逆に、家庭生活がうまくいっていると、  
家族に感謝し、協力し、いい想いをもちます。  
すると、それが原因となって、  
家族からそのまま返ってくることもありますが、  
職場の人たちやお客さんからも返ってきます。

当然、職場の人たちやお客さんからも、  
感謝されたり、協力してもらえたり、  
よく思われたりして、うまくいくのです。

家庭と職場は奥深くでつながっています。  
どちらかのトラブルは、必ず、  
もう一方にも影響を及ぼします。

なぜなら、原因と結果の法則が流れているからです。

さらに、結果が返ってくるのが、必ずしもその相手からとは限らず、他の人から返ってくることも多いからです。

家庭も職場の人間関係も、どちらも大切にしましょう。  
車の両輪のようなものです。

片方をおろそかにしたりしないようにしましょう。

## 17. 批判や非難が好きな人には、後で危険が訪れる

国家や組織が発展し、より良いものになっていくためには、批判や意見が必要となってきます。

しかし、日常生活においても、個人に対する批判や非難が好きな人がいます。

追求せずにはおれず、人をとことんまで追い詰めます。

そういった方は、後々とても危険な状況に置かれます。なぜなら、原因と結果の法則により、必ず、自分自身の身に返ってくるからです。

批判や非難、他者を追い詰めることが好きな方は、よくよく注意しましょう。

他者を追い詰めることによって、自らが追い詰められ、窮地に立たされ、周りのありとあらゆる人たちから非難されるという、緊急事態に必ず陥るからです。

たとえば、強烈な批判で個人攻撃を繰り返す政治家が、後ほど強烈な批判を浴びて失脚していく姿は、テレビなどでもよく見る光景ですよね。

原因と結果の法則を理解し、他者を執拗に追い詰めることは止めましょう。

自分自身を守るためです。

## 18.誰も見ていなくても、天が見ている

よりよく生きていくためには、  
日々の行いに注意しないといけませんが、  
特に、誰も見ていないときに注意が必要です。

誰も見ていない時は、何をしてもいいのかというと、  
そうではないのです。  
天が見ています。

原因と結果の法則は、  
誰が見ている見ていないに関係なく、  
厳格に結果を生じてきます。

ですから、誰も見ていないからといって、  
負の原因をつくるようなことをすれば、  
必ず自分にはね返ってきます。

誰かが見ているときに注意し、  
言動を正すことはもちろん、  
誰も見ていないときも注意し、  
言動を正しましょう。  
思いも正しましょう。

いつも天が見ています。  
そして、あなたの言動や想念は、  
原因と結果の法則により、  
必ず全て自分に返ってきます。

誰も見ていない時こそ、  
言動や思考に注意しましょう。

## 19. 怨まれたら、徳で対応しよう

生きてると、他者から怨まれるようなことがあります。  
しかし、怨みに対して、怨みで返してはいけません。

それでは、また、負の原因をつくってしまいますので、  
同じ事が繰り返し発生してしまいます。

原因と結果の法則をうまく使い、  
怨まれたら、徳をもって対応しましょう。

これは、非難し返したり、攻撃し返すのではなく、  
そういった人をまずは受け入れるのです。

そして、その人に善行を施してあげましょう。  
すると、プラスの原因をつくりますので、  
後々わざわいとなって返ってくることもありません。

そればかりか、善行を施しているので、  
良いことが返ってきます。

もちろん、実際に実行するのは、なかなか難しいことです。  
でも、実行すれば、効果はてきめんです。  
できるだけ、実行するようにしましょう。

本当は、怨まれること自体が、  
不徳の結果であるのですが、  
怨まれてしまったらしようがありません。  
善行という最強の武器で対抗しましょう。

普段から、できるだけ人を怨まないようにしましょう。  
そうすると、原因と結果の法則により、  
次第に怨まれることはなくなります。

少しでも人に怨まれたなら、

自分自身が過去に誰かを怨んだ結果であることを洞察し、  
他者を怨まないように、  
気を引き締めて生きていきましょう。

## 20. 店員さんも同じ人間

「お客様は神様です」と言われてきました。  
お金を払って買ってもらうのですから、  
お客さんは大切にしないとイケません。  
もちろんその通りです。

しかし、その考え方が当たり前になってきましたので、  
店員さんや売る側の人達に、やたらにきつくあたる人がいます。  
「俺は客なんだ」という理由で。

そういった人達に、「あなたは何様なのですか」と聞けば、  
「お客様だ!」という言葉が返ってくることでしょ。

しかし、店員さんも人間です。  
また、売る側の人達も人間です。  
客なんだからという理由だけできつくあたってたり、  
尊大な態度をとるのは止めましょう。

もちろん、品物に瑕疵やトラブルがあったり、  
接客態度が悪いなど、店側に非がある場合は別です。

それ以外の時は、理由もないのに  
きつくあたらないようにしましょう。

なぜなら、原因と結果の法則が、  
厳格に作用するからです。

たとえ客だからと言っても、店員さんに対して行ったことは、  
他の人に対して行ったことと同じく、  
必ず自分に返ってきます。

原因と結果の法則は、そのような社会的な立場を超えて、  
シンプルに作用します。

根源法則にとっては、店員だろうが客だろうがおかまいなしです。

理由もなく店員さんにつらくあたる人は、それが自分に返ってきて、なぜか人につらくあたる環境を作り出します。

また、自分が仕事上で担当するお客さんが、なぜか自分につらくあたるという反作用を引き起こします。

店員さんも人間です。  
理由もなくつらくあたらないう注意しましょう。

原因と結果の法則を理解し、  
全ての人に敬意を払って生きていきましょう。

## 21.起きてきた事には、全て意味がある

生きてると、様々なことが起きてきます。  
とてもたくさん現象と遭遇します。

でも、偶然は存在しません。  
すべては天のはからいであり、  
天の摂理、法則から発生しています。

意味も無く、ただ偶然に起こる現象はありません。  
すべて法則どおりに、ある意味で、数学的厳正さをもって、  
発生してくるのです。

そして、我々人間に起きてくる現象は、  
すべて、その人を成長させるために起きてきます。  
霊的な成長です。

偶然にある人に出会ったとします。  
「まさかこんなところで」というような所で、  
出会うこともあります。

でも、偶然ではないのです。  
とても正確な、数学的厳正さで、  
そのとき、そのタイミングで、  
起こるべくして、起こったのです。

こういった場合は、縁の力が大きく働き、  
運命を形作っていきます。

また、例えば、運の悪いことに、  
交通事故に遭ってしまったとします。  
そして、全治1か月の大怪我を  
してしまったとします。

でも、それは偶然ではなかったし、

運命であり、そのとき、そのタイミングで、  
起こるべくして起こったのです。

こういった場合は、人の痛みを知り、  
さらに慈悲深く、大きな人間になってもらうためであるとか、  
次の成功のための布石であったりとか、いろいろな  
意味を含んで発生します。

すべては天のはからいであり、  
その人を成長させる意味をもって、  
発生しているのです。  
原因と結果の法則も、厳しい法則ですが、  
私達の霊的成長を促すような方向で作用します。

天のはたらきは、何重にも意味を持ち、  
複合的な効果を含む完全なものです。  
ですから、起きてきたことを大切に理解しましょう。

現象ひとつひとつに、  
真理と法則、天の意思や運命が、  
深く刻み込まれているのです。

## 22.複雑なことは分解して単純にすると

### 分かりやすくなる

世の中の事象は、全てシンプルな事柄が  
組み合わさっています。  
根源法則が組み合わさって、様々な現象が発生します。

ですから、複雑な事、複雑なものも、  
よくよく見てみると、シンプルな事柄が  
組み合わさってできていることが分かります。

複雑な現象や問題を、どう解くかと悩んだときは、  
分解してみましよう。

分解していくと、いくつかのシンプルな事柄が現れます。  
後は、そのシンプルな事柄を、  
ひとつひとつ処理していくといいのです。

見目で圧倒されて、  
複雑なものはどうにもならないと、  
考えないようにしましょう。

複雑なものは、全て、シンプルなものの  
組み合わせでできているのです。

なぜなら、この世界を支配している、  
根源法則そのものが、とてもシンプルなものだからです。  
原因と結果の法則も、とてもシンプルな法則です。

複雑さは、シンプルなものの組み合わせであり、  
分解すると、解決方法が自然と見つかるということ、  
念頭に入れておきましょう。

## 23.原因と結果の法則にのっとりた生き方

原因と結果の法則にのっとりて生きれば、  
とても生きやすくなります。

逆に、この法則に逆らって生きれば、  
苦しみや辛いできごとが頻繁に起きてきます。

では、どのような生き方が、  
原因と結果の法則にのっとりた生き方なのでしょうか。

おおざっぱに言うと、次のようになります。

1. どんどん与えていく。
2. 人を傷つけない。暴力はもつてのほか。
3. 人を悪く思わない。
4. 他者に一生懸命奉仕し、良い仕事をする。
5. 人を悪く言わない、陰口を言わない。
6. 人から取らない、搾取しない。
7. 他者から攻撃されてもやり返さない。  
(結果が返ってきているだけなので)

以上のようになります。

細かく言えば、もっと多くなりますが、  
おおまかな部分では、以上のようになります。

上記内容をきちんと実践すれば、  
負の原因を積まなくて済みますので、  
悪い結果も少なくなります。

特に難しい点は、7番目の内容でしょう。  
他者から攻撃されたり、傷つけられると、  
通常はやり返します。

しかし、ここは忍耐です。  
悪い結果が現象化して、負の原因を解消するいい  
チャンスなのです。

いわゆる悪業、カルマというものは、  
結果として現れてはじめて解消します。

もし、やり返すとしても、あとで返ってきても  
問題ないようなやり方でやり返しましょう。

悪い結果を結ぶ負の原因を、さらに積んではいけません。  
繰り返しになってしまいます。

難しいですが、実践していきましょう。

## 24.他者をたてて自分を低い位置に置いて

### 生きていくのが最上

現代の複雑な人間関係をうまくのりきっていくには、  
他者をたてて、自分を低い位置に置いて生きていくのが最上です。  
他者をたてて、自らは謙虚にへりくだるのです。

他者をたてると、原因と結果の法則により、  
後ほど、あなた自身が周りにたてられるようになります。

自らが謙虚でへりくだっていると、  
原因と結果の法則により、後ほど、周りの人達は、  
あなたに対して謙虚にへりくだるようになります。

このように、他者をたてて、  
自らは謙虚にへりくだれば、  
原因と結果の法則により、結局は、あなた自身が、  
周りにたてられ、周りに謙虚にへりくだられる存在と  
なるのです。

そして、相手をたててあげることは、  
相手のためにもなりますので、どちらにもメリットがある、  
いわゆるWIN-WINの関係となります。  
両者がうまくいくのです。

他者をたてて、自分を低い位置に置いて生きていきましょう。

## 25.気づくって、とても大切なこと

気づくって、とても大切なことです。

何でだろうなあ、どうしてだろうなあと思い悩んでいたときに、はっと答えが出る、そして、そうだったのか、なるほど、そういうことだったのかと、すっと腑に落ちるのです。この瞬間は、とても嬉しいことであり、人は理解し、一段成長を遂げます。

すべての人が、気づきとともに理解を深め、自分を知り、社会を知り、世の中を知り、法則を知って、少しずつ成長していきます。

日常生活からの気づきもあります。  
仕事上での気づきもあります。  
自然観察からの気づきもあります。  
読書や、友人知人との語りあいや、  
スポーツや遊びからの気づきもあります。  
この世の中は気づきに満ちています。  
同時に、成長の機会も無尽蔵にあります。  
はっと気づくということ、すごく些細なことに見えますが、  
実はものすごいことなのです。

天からの贈り物とでも言いましょうか、  
決しておろそかにしてはならないことです。

もっと日常に気づきをもたらしましょう。  
気づきを大切にして、さまざまな現象に意味を見出しましょう。

あなたはやがて、どのような現象にも、  
原因と結果の法則が流れていることに気づくことでしょう。

## 26.内観とは何か

内観をおこなうと、心の曇りが取れて、  
根源法則が見えるようになります。

では、内観とは何か。  
簡単に言うと、自分を観察するということです。

自分を観察すると言っても、これが難しいんです。  
自分の行動を観察し、思考を観察し、そして、感情を観察する。  
実際には、このような流れを経ていきますが、  
いきなり、自分の思考や感情を観察するのはとても難しいです。

まずは、自分の呼吸を見守ることからはじめましょう。  
座ってもいいし、寝転がってもいいし、  
体勢はどんな形でもいいです。  
リラックスすることが大事です。  
そして、自分の呼吸が自然に進むのに任せましょう。

吸って、吐いて・・・  
吸って、吐いて・・・  
これをずっと見守り続けるのです。  
普通の人なら、1分ともたないでしょう。  
すぐに忘れてしまいます。  
もしくは、いろいろな考えや思考などにかきまわされ、  
ついには、自分が何をしていたのかも忘れてしまいます。

でも、かまいません。  
少しづつ、その時間が長くなっていきます。

最初は、1日に10分で充分です。  
慣れてくれば、1日に1時間もできればいいでしょうか。

そのころには、あなたの中には、  
観察者が存在することに気づくはずですよ。

これが一番最初の気づきです。  
慣れるまでは、呼吸を観察することが一番やりやすいです。

あなたの中の観察者は、  
とてもクールで、平安で、動きがありません。  
まるで、宇宙空間のような、それでいて、はっきりとした意識です。

あなたは、この身体そのものではありません。  
あなたは、その思考そのものではありません。  
あなたは、その感情そのものではありません。  
あなたは、観察者なのです。  
それが、本来のあなたです。

呼吸を見守ることによって、  
まずは、あなたは観察者なのだということに気づきましょう。  
そうすると、多くのことができるようになります。  
次第に、思考にのみこまれることがなくなり、  
感情にかきまわされることがなくなってきます。

もちろん、やり始めてすぐにできるようにはなりません。  
少しづつ、次第次第にできるようになります。

ですから、急ぐ必要はありません。  
真の成長は、とてもゆっくりと進むのですから。

## 27.見守ること、観察することを習慣化する

見守ること、観察することを習慣化すると、  
気づきの能力がとても上昇していきます。  
そして、原因と結果の法則を使いこなす力がついてきます。

内観について、さらに詳しくお伝えしたいと思います。  
内観とは、簡単に言うと、自分を観察するということです。

まずは、自分の呼吸を見守ることからはじめるのが一番です。  
座ってもいいし、寝転がってもいいし、  
体勢はどんな形でもいいです。

そして、自分の呼吸が自然に進むのに任せていきます。  
さらに、その呼吸を見守りつづけましょう。

ずっと続けていってください。  
釈迦や達磨や、覚者と呼ばれる人たち、  
悟りを開いたといった人たちは、  
皆、そこから始めていったのですから。

あなたは、観察者です。  
それが、本来のあなたです。

呼吸を見守り続けていると、  
自分の中にある変化が起こることに気づきます。

身体は、本当の自分ではない。  
思考は、本当の自分ではない。  
感情は、本当の自分ではない。

それらとの間に、距離ができます。  
ある種の離れた感覚が湧き出てきます。

もちろん、やり始めてすぐにはつかみとれません。

少しずつ、次第次第にできるようになります。  
ですから、急ぐ必要はありません。

次第に次第に、観察が、見守ることが、ゆるぎなくなってきました。  
それほどの努力なしで、  
十分に気づいていられるようになっていきます。

ずいぶん時間はかかります。  
でも、必ず、そういった時点が来ます。

何年かかかる場合もあります。  
素質があれば、1年もかからないかも知れません。

そして、それができるようになると、  
呼吸を見守らなくても、自然とあなたは、  
すべてを見守っている状況に気づくはずです。

あなたは、行動します。  
しかし、見守って。  
あなたは、考えます。  
しかし、見守って。

あなたは、怒り、悲しみます。  
しかし、見守って。

しばらくすると、見守っていたものが、  
行動が、思考が、感情が少なくなってくることに気づくはずです。  
ついには、必要最小限になってしまいます。  
思考や、感情などなくなってしまうときがきます。

これが、無の境地です。

まったく何もない状態ではないです。  
平安で、それでいて、何もない。  
そんな感じですよ。

長い道のりですが、見守って、観察して、  
覚醒していきましょう。

観察者がしっかりすると、  
すべての現象がより、はっきりと、クリアーに見えてきます。

日常生活から、とてつもない気づきが、ひらめきが湧き上がります。

## 28.生きていくのに必要な豊かさ

生きていくのに必要な豊かさってなんでしょう。  
私は次のようにまとめました。

- 1、精神的な豊かさ
- 2、物質的な豊かさ
- 3、社会的な豊かさ
- 4、健康面における豊かさ
- 5、人間関係における豊かさ

人は、生きていくときに、何らかの目標を持ちます。  
そして、考えることは実現に向かいますので、  
その目標に少しずつ近づいていきます。

しかし、その目標が、あまりにバランスを欠いたものなら、  
目標に到達したときに、  
目標を達成することはできたが、  
こんなはずではなかった、という状況が発生します。  
副作用によって、不都合が生じるのです。

上記しました、5つの豊かさですが、  
やはり、このバランスを考えた上での目標にする必要があります。

精神的な豊かさがなければ、生きている意味を見出せません。  
物質的な豊かさがなければ、いつも何かが不足していて、  
生きていくのが困難になります。  
社会的に豊かでなければ、  
この世の中に貢献しているという喜びを得られません。  
健康面の豊かさがなければ、  
すべてにおいて、幸せは吹き飛んでしまいます。  
病気や事故で、絶えず身体が痛むようでは、  
すべての豊かさを感じるゆとりさえなくなってしまいます。  
人間関係における豊かさがなくては、  
生きている喜びを感じられません。

生きがいや、やりがいの大部分は、  
他者との関わりから湧き起こるものだからです。

どれかひとつでも欠けていると、  
他の豊かさにもマイナスの影響を与えてしまいます。

精神的にも身体的にも健康で、  
社会的にも貢献できて、人間関係も円滑で、  
そのため、物質的にも豊かに生活している、  
こういった豊かさを手に入れるため、  
一生懸命努力、精進が大切です。

うまくバランスをとっていきましょう。

## 29.飽きるとは卒業すること

飽きるということについて述べていきます。

人は、いろいろな物事を行います。  
そして、飽きてしまい、やめていきます。

飽きるとはどういうことなのでしょう。

聡明な人ほど、飽きやすいです。  
飽きるとは、その物事から学べるものがなくなったということです。  
学べないから、成長できないから、  
面白くなくなって、飽き飽きするのです。

人は、自分を成長させたり、  
学べる事柄には、興味を覚えます。  
そして、面白さや楽しさを覚えます。

しかし、学べなくなったとき、  
飽きるという状態になります。  
学べないので、興味が出ず、  
成長できないので、面白くないということです。

ですから、飽きてしまったら、  
あなたは、その物事を卒業したと考えてください。

小さな子供がおもちゃを手にします。  
しばらくは楽しくて、いろいろ遊びます。  
しかし、時がくるとつまらなくなって、  
そのおもちゃを放り出してしまいます。

そのメカニズムを知ってしまい、  
学ぶことがなくなってしまったからです。

聡明な子供ほど、

飽きるのが早いです。  
そして、次のおもちゃに移っていきます。

大人でもそうです。  
仕事でもそうですが、  
やはり、学べるものをすべて吸収しつくすと、  
飽きてしまうものです。

単調な仕事ほど飽きやすいのは、  
そんな理由からです。

仕事は、収入を得ることができますので、  
飽きたからといって、すぐにやめてしまうことはできません。  
でも、飽きたときには、成長はないのですから、  
よりステップアップした仕事を要求するか、  
それもかなわないのなら、仕事を変えるのもやむを得ないでしょう。  
そうでないと、あなたの成長が止まってしまいます。

もちろん、仕事を選んだり転職するときは慎重さが必要です。  
その上で、成長が見込めない場合は、  
転職も必要かも知れません。

飽きたとき、あなたは、その物事を卒業したと考えましょう。

### 30.心の広さは、どれだけ他者を許せるかで決まる

心の広い人がいます。

また、心が広いと言われる人がいます。

心の広さとは、どういった特徴なのでしょう。

これは、人をどれだけ許せるかで決まります。

どうしても許せないことがありますね。

それがどういう内容なのかを見てみると、

人によってまったく違ってきます。

心の狭い人は、

些細なこと、ちょっとしたことで怒ります。

さらには、許すことができず、

相手を攻撃したり、非難したり、苦しめようとします。

心の広いほうがいいですね。

なぜかという、多くの人に好かれるからです。

また、周囲の人が、何かと好感をもってくれます。

さらには、原因と結果の法則から言いますと、

人を許さない人は、その人自身、

他の人から許してもらえません。

ですから、非常に生きにくくなります。

もっと、他者を許すことを学びましょう。

原因と結果の法則を学びましょう。

自分に何かが起こったときは、

他人が悪いのではありません。

自分がしてきたことがあなたにそっくり返ってきているのです。

そのことを理解し、認めましょう。

さらに、自分を好きになりましょう。

自分を許しましょう。  
自分を許せない人は、他人をも許せません。

自分を許し、他者を許し、  
すべてを許せる心の広い人を目指しましょう。

とても生きやすくなります。  
あなたも周囲から許してもらえる人になります。  
多くの人が協力してくれるようになります。

## 31.直感は天からの知らせ

ひらめきや、直感が、ぱっと湧くときがあります。

でも、普通は、そのまま放っておきます。  
しかし、それでは、実にもったいないです。  
なぜなら、直感はずからのお知らせですから。

一生懸命考えても答えがでないことがあります。  
しかし、あるとき、ふと答えが出てきます。  
そのときは、何も考えていないときです。  
これは、天からのお知らせです。

大切にそのひらめきを暖めて、  
実践しましょう。

たいていは、右脳を通して、  
ひらめきが湧きます。  
そして、右脳は、  
天につながっているのです。

その答えはとても正しいので、  
今、それを行うことが必要ですよというお知らせなので、  
すぐに実行する必要があります。

それを実行することによって、  
あなたは、一段階レベルアップします。

一番早くあなたが成長する方法は、  
直感とひらめきを大切に、  
そのとおりに実行することです。

あなたの周波数が上がり、レベルアップします。  
そして、レベルアップすると、  
さらに多くのひらめきがやってきます。

直感とひらめきを大切にしましょう。  
それは、天からの贈り物です。

そのとおりにすると、うまくいきます。

## 32.自然をお手本に

自然は、完全です。

不完全に見えたとしても、  
それは、完全すぎるためにそう見えるだけです。

完全な部分と不完全な部分が折り重なって、  
完全を生み出しています。  
まるで、根源法則そのものです。

さらに、美しさと醜さが折り重なって、  
美しさを生み出しています。

自然は最高の経営者です。  
完全で、間違いはありません。

ですから、自然をもっと観察して、  
自然に学び、自然の真似をすればいいのです。  
すると、人は、自然になっていきます。

力まないで、無理をして失敗することはありませんし、  
自然な人は、周りからも好かれます。

忙しい日常を離れて、  
ときどきは自然に囲まれて、  
自然の法則を感じ、  
完全さを感じる時間が必要です。

### 33.内観はチャクラを開花させる

人間の体には、7つのエネルギーセンターがあります。

これらのセンターは、チャクラと呼ばれますが、目には見えません。

頭頂のチャクラ

眉間のチャクラ

喉のチャクラ

胸のチャクラ

みぞおちのチャクラ

丹田のチャクラ

生殖器のチャクラ

と、7つのセンターがあります。

これらのセンターにはそれぞれ大きな役割があります。

下から上にいくほど、開くのが難しく、

喉のチャクラが開いている人は、とても少ないです。

特に、頭頂のチャクラ、サハスラーラが開いている人は、

まれにしかいません。

俗に、悟りを開くという状態が、頭頂のチャクラが開いた状態です。

これらのセンターが、うまくバランスをとって、

人間の生命を操っているのです。

これらのセンターが、開いていれば開いているほど、

また、活発に動いていれば動いているほど、

さまざまな潜在能力が引き出され、

超人的な能力が開花します。

内観を行うと、次第に、チャクラが開いていきます。

内観の意識エネルギーが、流れを生み、

チャクラが回転し始めるのです。  
少しずつでいいので、内観を続けていきましょう。  
その過程で、知らず知らずの内に、  
チャクラが開く時期が近づいてきます。

### 34.蒔いた種は刈り取らなければならない

蒔いた種は、実を結び、刈り取る時期になると、  
本人が刈り取らなければなりません。

罪を犯したなら、その罪も、必ず、罪を犯した本人に戻ってきます。

逆に、他者に良いことをしたならば、  
あとで実を結び、必ず、本人にも戻ってきます。

この世界の根本法則を記した、とても重要な言葉です。

私は、新約聖書にある、この言葉がとても好きです。  
自分のしたことは、必ず自分にはねかえってくることを肝に銘じて、  
生きていかないとはいけませんね。

### 35. 人事を尽くして天命を待つ

運命というものが厳然と存在します。  
人間の努力など、及ばぬ段階があります。

人事を尽くす、  
必死になって、努力して、  
全力を出し切ったとき、  
あとは、どうすることもできません。

そこまで行ったなら、あれこれ心配するより、  
天命に任せましょう。  
天に任せるのです。

原因をつくる部分、これが努力です。  
種を蒔くときです。

でも、結果が現れるには、時間がかかります。

実がなるまでには、  
天の力と時間が必要です。

全力を尽くし、  
やれることは全部行ったなら、  
あとは天に任せましょう。

そうすれば、おのずと努力に見合った結果がついてきます。  
原因と結果には、結構、時差があるからです。

結果を焦って、失敗しないようにしましょう。

### 36.今この時、最も必要な環境がつくられている

この世界には、生命進化の法則が流れています。  
そのため、私達の霊をレベルアップできるように、  
周囲の環境がつくられていきます。

原因と結果の法則もまた、  
私達の霊をレベルアップさせるために  
存在しているとも言えます。

現在、置かれている環境は、  
自らの想いが創り上げたものであり、  
他者に対する言動が返ってきているものです。

たとえば、他者に対して批判や非難を繰り返し、  
攻撃を繰り返す生き方を送ってきたとします。

その場合は、原因と結果の法則が作用し、  
自らの周りに批判的な人や攻撃的な人が集まってきます。  
(この現象は、「類は友を呼ぶ」現象とも呼ばれます)

そして、自らが批判、非難などの攻撃に  
さらされる生活が始まります。

自分が他者に対しておこなった言動が、  
そっくりそのまま自らに返ってくるのです。

原因と結果の法則は、非常に厳格な法則ですが、  
実はその奥に、その靈魂を何としても成長させたいという  
深い愛を秘めています。

周囲の環境を、その靈魂の言動を映し出す  
鏡として調整することで、  
自覚をうながそうとしているのです。

なぜなら、自らに返ってきて始めて、  
自分がおかしてきた過ちに気づくからです。

やはり、自らが痛い目に遭わなければ、  
他者の痛みは分かりません。

他者を傷つけないようにしましょう。  
そして、他者に奉仕しましょう。  
また、他者から取らず、与えることに専念しましょう。

それが、原因と結果の法則にのっとった生き方です。

## 37.他者を悪く思うことの反作用

他者を悪く思うことを止めましょう。

なぜなら、原因と結果の法則により、  
自らに返ってくるからです。

他者を悪く思うと、自らも、  
いろいろな人達から悪く思われます。

そうすると、人間関係が悪化し、  
生活しづらくなっていきます。

また、他者を悪く思うと、  
陰口となって返ってくることもあります。  
陰でいろいろと悪口を言われるのです。  
これもまた、人間関係を悪化させます。

愚痴も言わない方がいいですね。  
愚痴を言いますと、マイナスの想念ですから、  
マイナスの現実化を引き起こし、  
良くない現実が引き付けられます。

他者を悪く思ったり、  
悪口を言うのを止めましょう。

そして、他者を良く思い、  
良い評判を立ててあげるようにしましょう。

難しいことではありますが、  
原因と結果の法則が確実に作用していることに気づき、  
思考と行動を改めていきましょう。

自分自身を守るためです。

## 38.根源法則が当たり前になる時代

ついに、根源法則が当たり前になる時代がやってきました。  
根源法則が、常識となる時代ですね。

実は、原因と結果の法則などの根源法則は、  
いつの時代にも語られてきました。

多くの聖者や賢者たちが、  
口を酸っぱくしながら伝えてきたのです。

多くの方が、異端者として迫害されながらも、  
命がけで伝えてきた真理です。  
でも、常識になることはありませんでした。

今は根源法則が常識になりつつあります。  
たとえば、「原因と結果の法則」という本が、  
世界中でたくさん売られていますね。

「原因と結果の法則」という本が売れるということは、  
たくさんの人達の心に根源法則を知りたいという欲求が  
湧き上がっていると言えます。

それは、時代の要請であり、  
天のはからいの一つでしょう。

科学の進歩も、人々の心に根源法則への欲求を  
芽生えさせるのに一役かっています。  
科学もやはり、根源法則を認めざるを得ない状況に  
なっているからです。

全ての人々が根源法則を理解し、  
それが常識となった時、  
愛に満ちた素晴らしい社会がやってきます。

そして、ついには法律もなくなっていくでしょう。  
なぜなら、法律は、根源法則を理解せずに、  
他者に迷惑をかける人たちを、  
強制的に罰するものだからです。

時代は、根源法則の常識化に進んでいます。

時代に乗り遅れないように、  
原因と結果の法則をよく理解しておきましょう。

### 39.幸せを手に入れたら、いかに永続できるかを考えよう

原因と結果の法則を身に付け、  
他者に奉仕する人生を送れば、  
真の幸せを手に入れることができます。

そして、幸せを手に入れたら、  
いかに永続できるかを考えていきましょう。

原因と結果の法則を実践していく中で、  
いろんなコツをつかむことができます。

コツですので、人によってそれぞれ異なりますが、  
うまくいった時の感覚、うまくいくようにするコツを  
自分の中に大切に蓄えていきましょう。

また、どの方法が一番効果があって、  
自分に適していたかを確認しておきましょう。

原因と結果の方法の実践については、  
根本は同じなのですが、人により、  
微妙にやり方が異なるからです。

自分独自のコツさえつかめば、  
もう、恐いものなしです。  
永続して、幸せな状態を継続していくことができます。

一番やりやすく自分にあった方法を、  
ずっと続けていくようにしましょう。

効果がなかなか上がらない方法や、  
実践するのに極端な苦痛をとまなう方法は、  
長続きしません。

原因と結果の法則に根付いた方法で、

さらには、極端な苦痛をとまなわない方法を、  
長くコツコツと続けていきましょう。

できるだけ、楽しみながら実践するように心がけていくと、  
長続きしますよ。

最終目標としては、努力しなくても、  
自然と原因と結果の法則に根付いた行動を  
おこなえるようになりましょう。

## 40. 苦境からは逃げないこと

生きていると、いろいろな苦境に遭遇します。

苦境に対しては、逃げずに立ち向かうことが一番大切です。  
なぜなら、逃げても追いかけてくるからです。

苦境は、どのようにして形成されるのでしょうか。  
それは、自らの悪い行いの積み重ねが、  
原因と結果の法則により、まとめて返ってきた時に  
発生します。

原因と結果の法則の特徴といたしましては、  
ちょろちょろと小出しに返ってくるのではなく、  
ある時に、まとめて返ってくる人が多いです。

運命には波があるのですが、  
その波が下降した時に、  
苦境がどっとまとめてやってくるのです。  
「悪いことは続く」と言われる所以です。

でも、逃げずに一つ一つ解決し、  
身に受けて解消していくことで、  
さらに高いステージへと  
レベルアップすることができます。

原因と結果の法則は厳格です。  
ですから、逃げても追いかけてきて、  
確実に返済させられます。  
逃げるのが一番まずいやり方です。

苦境には、  
正面からがっぷり四つで立ち向かいましょう。

## 41.大切な物事には、単調な作業の繰り返しが多い

生活していると、いろいろなことを行います。  
楽しいこと、苦痛をともなうこと、  
複雑なこと、簡単なこと、  
重要に思えること、それほど重要でないこと  
などなど。

そんな中で日々、内観を続けていると、  
いやでも気づいてしまうことがあります。

それは、日常生活には、  
単調な作業の繰り返しが非常に多いということです。

同じことの繰り返しや、  
地味に見える作業が大半を占めます。

でも実は、これらの地味で単調な物事や作業の繰り返しの、  
とても重要な意味が含まれているのです。

内観も同じですね。  
自分を見守るという地味な作業を、  
何年も何年も続けていくという作業です。

地味で単調だからといって諦めずに、  
ずっと続けていくと奇跡が起こるわけです。

地味で単調な作業を軽く見て、  
おろそかにしないようにしましょう。

重要な物事は全て、  
地味で単調な作業の繰り返しと積み重ねから成り立っています。

大自然を観察してみましよう。  
春夏秋冬、朝昼夕晩といった単調に見える繰り返しを、

何億回、何兆回と飽きずに繰り返しています。  
しかも、とても規則正しく繰り返しています。

自然は規則正しさと繰り返しを基盤として成り立っています。  
輪廻転生も繰り返しの一つですよ。

ではなぜ、自然がそのようになっているかと言いますと、  
円と周期の法則を基盤としているからです。  
また、調和とバランスの法則も関係してきます。

完全なる英知を持つ大宇宙、大自然が、  
規則正しさと繰り返しを大切にしているということを、  
再認識する必要があります。

大自然や大宇宙と一体となるには、  
規則正しさと繰り返しを受け入れ、  
粛々と実践していく才能が必要となります。

自然は、完璧であり、パーフェクトです。  
できるだけ、自然に近づいていきたいものですね。

## 42. プラスの原因をたくさんつくろう

原因と結果の法則により、  
他者に行ったことは、必ず自らに跳ね返ってきます。

ですから、まずは他者を傷つけたり、  
奪うことを止めましょう。

それらの行いは、負の原因を多くつくってしまい、  
自らに負の結果として、確実に返ってきます。

さて、負の原因をつくらないように、  
注意して何年も何十年も生きていきますと、  
負の原因が無くなったように感じる時点が来ます。

その時には、他者から攻撃されることも無いし、  
人間関係も円満で、他者から憎まれることもありません。  
なぜなら、負の原因が無いからです。

しかし、負の原因が無くなればそれで終わりかと言いますと、  
そうではなく、今度は、正の原因、  
プラスの原因をたくさんつくっていくという仕事が残っています。

他者を喜ばせましょう。  
他者に奉仕しましょう。  
他者に貢献しましょう。  
他者に満足してもらいましょう。  
他者を助けましょう。  
他者を感動させましょう。  
他者を励ましましょう。  
他者を勇気付けましょう。  
他者に目標と夢を与えましょう。  
他者の問題を解決してあげましょう。  
他者にたくさん与えましょう。  
プラスの原因をたくさんたくさんつくっていきましょう。

これらはプラスの原因エネルギーとして、  
あなたに蓄積されていきます。  
プラスの原因エネルギーは、徳とも呼ばれています。

プラスの原因をたくさんつくって徳を積むことで、  
あなたの人生は、大変な幸せに包まれます。  
来世でも幸せな環境に生まれることでしょう。

そしてまた、プラスの原因をつくることで、  
何よりも、天が喜びます。  
宇宙が喜び、天使達が手を打って喜ぶでしょう。

## 43.道義、道徳は社会の一番の宝物

日本社会は、諸外国に比べ、  
とても住みやすくなってきていると思います。  
もちろん、問題はたくさんありますが。

法治国家ですので、  
法律が社会の根幹を支えています。

しかし、法律はあくまでも最低限のルールですので、  
法律だけですべての社会活動が  
うまくいくわけではありません。

やはり、道義や道徳が大切になってきます。  
道義や道徳が力をもっている社会は、  
とても活気があり、活動しやすいです。  
道義や道徳は、社会の宝物です。

日本にも昔から、たくさんの道義や道徳が出現し、  
とても豊かで色々な様相を呈してきました。

しかし、時代が流れるに従って、  
古い考え方や道徳が捨てられる傾向にあり、  
新しく優れた道徳が、どんどん現れてきています。

そういった流れは、とても自然であり、  
歓迎すべきことでしょう。

これからもいろいろな道義や道徳が現れ、  
日本社会を形作っていくことでしょう。

そして、その中で、原因と結果の法則といった、  
根源法則を根幹とした、  
根源法則に則った道義、道徳の出現と普及が望まれます。

根源法則に則った道義、道徳は、ある意味で、  
法律よりも強力なパワーを秘めたものとなります。

根源法則に則った道義、道徳は、  
すでに日本中にたくさん出現してきておりますが、  
その融合と、普及が望まれる状況です。

## 44.小さな変化ほど注意が必要

大きな変化は、すぐに気づきます。

メディアも発達している社会ですので、  
大きな変化があればすぐに知れ渡り、  
みんなが気づきます。  
ですから、対策は立てやすいです。

しかし、小さな変化は、  
よくよく目を凝らしているか、  
目のいい人、変化を見抜ける人でないと分かりません。

さらに、小さな変化は、予兆と言いまして、  
何かの変化の前触れであることが多いのです。  
ですから、小さな変化に気をつけるべきです。  
小さな変化に注意するべきです。

大きな変化は、注意していなくても、  
自然とわかります。

小さな変化から、将来を見抜ける人、  
そんな人が、先手を打って、  
危険を逃れたり、成功を導き出したりできるのです。

原因と結果の法則に常に気を配っていると、  
どのような原因の芽から、  
どのような結果の実がなるかが分かってきます。

そうすると、小さな変化に気づき、  
その変化からどのような結果が生じるかを、  
見極めることができるようになります。

小さな変化に気づきましょう。  
そして、マイナスの結果を生み出す芽は、

小さな内に摘んでおきましょう。

## 45.原因と結果の法則の連鎖

内観を行い、気づきと理解を積み重ねて内面をおさめると、その人がいるだけで、周囲がまとまります。原因と結果の法則にのっとりた行動をとるからです。

その人の心の中は、原因と結果の法則にのっとりているため、平安に満たされています。

そして、その状態が回りに溢れ出し、周囲の物事がうまくいきます。

周囲の人間関係も、潤滑に進んでいきます。なぜなら、原因と結果の法則は、周囲をも巻き込むからです。連鎖反応を引き起こします。

ですから、できるだけ徳の高い人物と付き合う方がいいでしょう。

プラスの原因を積み続ける徳の高い人の周囲にいと、知らず知らずの内に、周囲の人達もプラスの原因を積み、徳を積んでいきます。

逆に、負の原因を積み続ける人物のそばにいと、自らにも負の原因が移動してきます。

なぜなら、負の原因を積み続ける人物の周囲には、負の結果を現象化させようというエネルギーが渦巻いているからです。

そして、負の原因を積み続ける人物の周囲にいる人達は、知らず知らずの内に、負の結果を現象化させる役割を演じさせられます。

そうすると、その役割を演じさせられた人物にも

負の原因が移動してくるのです。

たとえば、攻撃的な人物のそばにいと、  
なぜか、その人物を攻撃してしまいます。  
負の原因が現象化しようとするからです。

その結果、他者を攻撃するという負の原因を積んでしまいます。  
悪循環ですね。

他者の原因エネルギーに振り回されないレベルまで、  
自己修養ができていれば別ですが、  
そのレベルまで至っていない場合は、  
できるだけ、負の原因を積み続ける人物とは  
関わらない方がいいでしょう。

## 46.大自然の運行は規則正しく、止むことがない

大自然の法則を一番うまく表現しているのは、やはり大自然です。

大自然は、宇宙の法則、大自然の法則そのものです。法則どおりに、粛々と動いています。

そしてまた、大自然の運行は、止むことはありません。

規則正しく、常に動き続けます。そこにはまた、周期や循環もあります。しかしながら、原因と結果の法則から外れることはありません。

人間が力強く生きていく最良の方法は、大自然の法則、根源法則に則って、生きていくことです。

ですから、大自然の動きを観察し、どんどんと自分の生き方に取り入れていけばいいのです。

例えば、大自然が規則正しく動き続けるのは、それが法則に則ってきちんと動き続けるからです。

人間も同じ様に、規則正しく、粛々と物事を進めていくことを学ぶ必要があります。

人間は特に、暑いから、寒いから、眠いからと言って、また、気が進まないから、嫌だからと言って、とかく物事を怠けたり、規則正しさを失うような生活をしてしまいがちです。

また、原因と結果の法則から外れた行動をとりがちです。

そうすると、法則から外れて、お手入れが入って、苦痛や病や悩みなどが発生するのです。

大自然をみなрайましょう。  
生活を規則正しく、  
物事も規則正しく、肅々と進める習慣をつけましょう。  
原因と結果の法則にのっとった生活をしましょう。

それが一番うまくいくし、最も効率的なのです。

## 47. 幸せは自分でつくりだすもの

幸せは、向こうからやってきてはくれません。  
自らの努力で引き寄せないと決してやってきません。  
何もせずに、幸せになることはありません。

また、他人が幸せを運んできてくれるのでもありません。  
棚からぼた餅ということは、  
原則的にはあり得ません。

周りを見ると、とてもラッキーな人、  
恵まれた人たちがいます。

でも、もっとよく観察しましょう。  
そんな人たちが、どれほどの努力を積んできたか、  
どれほど他者に与えてきたかを。

人の何倍も考え、実行し、  
努力を積み重ねてきた結果です。

そして、他者を喜ばせ、  
奉仕をして、徳を積み上げてきた結果です。

生まれつき恵まれているという人は、  
前世でずいぶんと徳を積んできています。

幸せは、他人がもってきてくれるものではありません。  
幸せの方からやってきてくれるのでもありません。

努力と奉仕で徳を積み、  
自らたぐり寄せなければならないのです。

原因と結果の法則がこの世界に息づいている限り、  
種を蒔かなければ、収穫はありません。

48.人が自分に施してくれた恩恵は忘れてはならないが、  
自分が他人に施した恩恵は忘れなくてはならない。

原因と結果の法則により、  
あなたが誰かに与えたことは  
必ず自らに返ってきます。

ですから、自分が他人に施した恩恵は  
忘れてしまいましょう。

いちいち気にすることはないのです。  
天のはからいに任せておきましょう。

「これは俺が施した恩恵だ！」と  
主張するのはやめましょう。

原因と結果の法則を知らないと  
公言するようなものです。

また、恩着せがましさは、  
相手に不快感を与えます。  
見返りを期待していると思われ  
そして、人間としての信頼感が少し失われます。

見返りなど期待しなくても、  
与えれば与えられます。

原因と結果の法則はとても正確なものである  
と、  
どんどん与えて、  
与えることだけ考えておればよいのです。

恩着せがましくなると、あなたの周りに  
恩着せがましい人達が集まりだし、  
生活しにくくなってきます。

類友の法則がはたらくからです。

逆に、あなたが誰かに恩恵を受けたときは、  
忘れないでおきましょう。  
そして、何らかのお返しをしましょう。  
感謝の気持ちを持ち、表現しましょう。

そうすれば、原因と結果の法則により、  
あなたが誰かに恩恵を与えたときも、  
忘れずに感謝してもらえ、お返しをしてもらえます。

## 49. 真の思いやり

他者に親切であることが大切です。  
そして、忘れてならないのは、  
自分にも親切であることです。

さらに、他者が生きるのを助け、  
自分が生きるのを助けることです。

他者に親切なだけではいけません。  
他者中心の生き方、  
略して「タコチュー」になってしまいます。

タコチューは、自分を犠牲にします。  
「自分はいいから、他者のために」と動きます。  
ですから、行き過ぎて自分を壊してしまうことが多いのです。  
タコチューには、偏りがあります。

自分に親切なだけではいけません。  
自己中心の生き方、  
略して「イカチュー」、ではなくて、  
「ジコチュー」になってしまいます。

ジコチューは、自分だけを大切にします。  
周りをかえりみません。  
もっとも嫌われ、他者に迷惑をかけるのが、  
ジコチューです。

ジコチューでは、たくさんのトラブルが発生するでしょう。  
タコチューの要素を取り入れるべきです。

このように、タコチュー、ジコチュー、  
どちらにも偏ってはいけません。

両方をバランスよくとって、

「ジコタコチュー」になれるよう、努力しましょう。

「ジコタコチュー」が最良の生き方です。  
自らを活かしつつ、それでいて、  
他者を豊かにできる生き方です。

他者に奉仕するので、原因と結果の法則も  
うまく活用できます。

## 50.愛するとは、誰かに親切を施したいと望むこと

他者を愛しましょう。  
愛すると、他者に親切にしたいくなります。

どんどん親切にしましょう。  
原因と結果の法則により、  
あなたも愛され、親切にされるようになります。

愛するとは、何でしょうか。  
他者に親切にしたいと思えば、  
それは、愛が発生していると考えてよいでしょう。

愛すると、もう他人ではありません。  
相手が自分そのものになります。

その人がきちんと生きれるように、  
仕事がうまくいくように、  
楽しく生活できるように、  
サポートしてあげたいくなります。  
守ってあげたいくなります。

他者を愛し、親切にしましょう。  
天も私達にそれを望んでいます。

そして、誰かを愛し、親切にすることで、  
あなたは急激に人間的な成長を遂げます。

原因と結果の法則から考えても、  
大変よいことです。

もし、人を愛することができない人は、  
内観を行いましょう。  
心の鏡が、いろいろな知識や経験の残りかすで曇っています。  
内観を行って、心の鏡を磨きましょう。

また、ピカピカの心が現れます。

人を愛する心は、自然なものです。  
無理に愛そうとしなくても、  
自然と湧き上がるものです。

人に親切にしようという心は、自然なものです。  
無理に親切にしようとしなくても、  
自然と湧き上がるものです。

内観を行いましょう。  
人を愛しましょう。  
人に親切にしましょう。

それは些細なことに見えても、実際は  
そうではありません。

天から見れば、人間の霊的進化にとって、  
キーとなるととても重要なことなのです。

## 51. 悪事身にかえる

悪いことをすると、必ず自分の身に返ってきます。  
なぜなら、原因と結果の法則が流れているからです。

自分のしたことは、相手から、  
もしくは他の人から必ず返ってきます。  
とても厳格に、正確に返ってきます。

逆も言えます。  
良いことをすれば、良いことが必ず、  
自分の身に返ってくるのです。

良いことを他者に対して行くと、  
良い結果が本人にも返ってくるための  
エネルギーが発生します。  
このエネルギーを徳と言います。

徳を積んだ人というのは、  
他者にたくさん良いことをして、  
プラスのエネルギーが充満しています。

そしていつか、そのエネルギーが、  
怒涛のごとくその人にプラスの結果をもたらします。

もちろん、徳は目には見えないので、  
とらえることは難しいものです。

徳を積んだ人というのは、  
他者に良いことをおこなってきたため、  
良いことが本人に返ってこようとするエネルギーを、  
たくさん蓄えています。

ですから、何かのきっかけがあったり、  
時がやってきますと、ブレイクしたり、

とんでもない幸運に見舞われたりするのはです。

全て、自らの行いが、  
返ってきているだけなのです。

他者に対して悪いことをしないように  
努力しましょう。  
自分に返ってくるからです。

そしてまた、他者に対して良いことを行うように  
努力しましょう。  
他者のためでもあり、自分のためでもあります。

## 52.悪銭は身につかない

悪いことをして手に入れたお金は、  
すぐに無くなってしまいます。

遊びに使ってしまってなくなるか、  
誰かに取られたり、警察に没収されたりと、  
すぐに無くなってしまいます。

なぜなら、与えた代わりに与えられたのではないからです。  
取れば必ず、取られます。

仕事をして、労働や価値を与えて、  
それで与えられたお金はすぐにはなくなりません。  
なぜなら、まず与えているからです。  
虚実の実の方です。

逆に、詐欺や、恐喝など、  
はたまたギャンブルなど、  
まず、与えていません。  
ただ、取っているのです。

ですから、原因と結果の法則により、  
必ず、取られます。  
虚実の虚の方です。  
実体がありません。

悪銭は身につきません。  
まずは、与えて、喜んでもらい、  
それから、報酬を得るようにしましょう。

## 53.情けは人のためならず

情けをかけることは、  
相手にとっても恩恵ですが、  
それだけではありません。

自分にもその恩恵が利子をつけて返って来ますので、  
人のためだけではないのです。

「情けは人のためならず」ということわざ通りです。  
このことわざは、情けをかけることは、  
結局は相手のためにならないという厳しいことわざと、  
解釈されることがありました。

しかし、このことわざが発生した時は、  
情けをかけることは、他者のためだけでなく、  
自分のためでもあるという意味だったのです。

原因と結果の法則を理解すれば、  
情けをかけることが、他者のためであり、  
自分のためであることがわかります。

本当は、他者も自分もつながっています。  
他者にしたことは、自分にしたことです。

情けをかけることに躊躇は不要です。  
慈悲の心、慈善の心を持ち、  
善行をどんどん行いましょう。

相手のためであり、結局は自分のためなのです。  
困ったときは、お互いさまです。

## 54.気づいたらすぐ改める

原因と結果の法則に照らし合わせて、  
問題となる現象の原因に気づいたときは、  
すぐに改めましょう。  
なぜなら、原因と結果の法則は絶対だからです。

気づいても改めなければ、  
問題となる現象が、繰り返し繰り返し  
結果としてやってきます。

気づいたその時、すぐに改めましょう。  
自分自身にとってよくない結果が発生したとき、  
原因と結果の法則に照らし合わせて考えれば、  
その原因は自ずから割り出せます。

自分にとっても他者にとっても  
悪い結果を発生させる原因は、  
躊躇せず、今すぐ取り除きましょう。

良い方に改める、  
この時に、真の勇気と決断力が試されるのです。

私達がどのように決断し、行動や思考を改めるか、  
天はずっと見ています。  
そして、アカシックレコードに記録されていきます。

## 55.縁と原因と結果の法則の関係

縁が切れると、別れが発生します。  
嫌な相手であればせいせいしますが、  
仲良く、好きだった相手との別れは、  
とても辛いものです。  
別れたくないでしょう。

しかし、縁が切れると、  
強制的に別れさせられます。

原因と結果の法則によるエネルギーが、  
全て解消してしまった場合は、  
後は強制的に別れさせられるばかりです。

縁というお互いを引き付けあうエネルギーが切れると、  
どんどんと離れてしまうのです。

縁がなくなったということは、  
その相手との関係性における様々な問題を解決し、  
卒業したということです。

別れはいつか必ず訪れます。  
どんなに最愛の人であっても、  
いつかは離れなければならないときが来るのです。

しかし、別れは出会いのはじまりです。  
別れが辛く悲しいことは分かります。  
でも、できるだけ早く気持ちを切り替えて、  
元気に生きていきましょう。

なぜなら、次の出会いが準備万端、待っているからです。  
縁がある他の人と、出会いが始まり、  
さまざまなドラマが新しく始まるのです。

縁がすべてなくなれば、  
この地球上に生きることはできなくなります。

でも、そんなに簡単には、  
すべての縁はなりません。

次の縁がたくさんたくさん待っているのです。  
新しい出会いを楽しみながら、  
元気にやっていきましょう。

## 56.人に完璧を求めない

人に完璧を求めてはいけません。  
トラブルの元です。  
なぜなら、人は完璧ではないからです。  
みな不完全です。

すべての人が、  
いろいろな欠点を持っています。

そもそも完璧な人間なら、  
地球上に生まれ変わって来ません。

天使の世界や、  
神の世界に生まれるはずでず。

人間界に生まれてきたからには、  
何かしらの欠点や不完全さを持っています。

そして、毎日苦闘しながら、  
その欠点と向き合っけて乗り越えようと、  
みな必死なのです。

人は皆、不完全であることを  
再認識しましょう。  
人に対して望む要求水準をグンと下げましょう。

自分にも完璧を求めないようにしましょう。  
下手をすると、  
ノイローゼになってしまいますよ。

自分も不完全なことを認め、受け入れましょう。  
不完全な人たちが、一緒になって、  
切磋琢磨しているのが、この地球です。  
お互い様です。

他者に完璧を求めると大きな摩擦が生じ、  
困難が深まります。

相手を許し、原因と結果の法則により、  
自分も許してもらいましょう。

## 57.うまくいく人とうまくいかない人

何をやってもうまくいく人と、  
うまくいかない人がいます。

その人たちの間の大きな違いは、  
原因と結果の法則を味方につけているか、  
敵にしているかです。

他には、途中で諦めるか諦めないか、  
というのも大きな違いです。

原因と結果の法則は、  
たいへん厳しい法則ですので、  
万人に作用します。

与えれば与えられるのです。

自分のしたことは、  
必ず自分に返ってきます。

このことをわかって行動する人は、  
危なげがありません。  
結果を味方につけています。

逆に、原因と結果の法則を知らないか、  
気づかないか、  
知っていても使わないような場合、  
非常に危険な状態です。

どんどんと、  
負の原因をつくってしまいます。

そして、あとあとになって、  
自分に返ってきて、

泣きを見ることになるのです。

非常に厳しい法則ですので、  
この法則を無視した場合、  
悲惨な状況を招いてしまうことも  
しばしばです。  
立ち直れなくなることもあります。

原因と結果の法則の存在を  
理解しましょう。  
そして、その法則にのっとり  
行動しましょう。

そうしないと、数々の危険に  
遭遇してしまいます。

## 58.取られないためには、取らないこと

他者から取ろうとしてはいけません。  
なぜなら、原因と結果の法則により、  
あなたからも取ろうとされるからです。

他者から取り上げてはいけません。  
原因と結果の法則により、  
あなたも取り上げられるからです。

他者は、他人ではありません。  
実際のところ、奥深くでつながっているので、  
自分自身でもあるのです。

ですから、他者からいかに取るのかではなく、  
いかに与えるかに尽力しましょう。

あなた自身が、どんなものを与えられるのか、  
どういったかたちで奉仕できるのか、  
そして、あなたにできて、他者に貢献できることは何か、  
絶えず、考えていきましょう。

他者から取ろうとするのは、  
自分から奪うのと同じことです。  
あとで必ず、自分が同じ目にあいます。

そうではなく、他者にいかに与えるか、  
どういった形で与えるのか、  
自分にできることは何なのか、  
それを考え、行動していきましょう。

現代を生き抜く知恵の根本は、  
与えて、取らずです。

## 59.人から受けた仕打ちに対して、いつまでも根にもたない

生きてると、他者からとんでもない仕打ちを受けることがあります。

「どうしてこんな仕打ちを？」と、目を疑い、耳を疑うような仕打ちを受けることがあります。

そんなとき、通常は、相手を怨んでしまうか、やり返すことが多いです。

でも、原因と結果の法則を理解していれば、それが自分が過去に誰かにしてきた行為の結果であることが分かります。

自分自身がおかした罪が返ってきて、結果を身に受けさせられているのが真実のところ。そのことが分かれば、怨み続けたり、反撃に出たりしようとする心が無くなるでしょう。

もちろん、怨むのも反撃に出るのも、その人の自由意志に任されています。天は、そこまで束縛はしません。

しかし、怨めば、誰かに後で必ず怨まれます。反撃すれば、誰かに後で必ず攻撃されます。原因と結果の法則が作用するからです。

ですから、受けた仕打ちをいつまでも怨み続けたり、根に持ったり、反撃をすることは、結局は、自分のためにならないことになります。

賢く生きるならば、できる限り、受けた仕打ちに対して、怨まぬよう、反撃せぬよう、

忍耐と理解で乗り切りましょう。

## 60. うまくいっている時期に、逆境の原因をつくってしまう

誰にでも多かれ少なかれ、  
逆境はやってきます。

物事には周期がありますので、  
よくなったり悪くなったりと、  
波を描きます。

順境と逆境が交互に訪れてきます。  
これは仕方のないことなのですが、  
逆境がどれほど辛く苦しいものであるかは、  
順境、うまくいっていた時期に原因があります。

順境のときにつくった負の原因が集まって、  
逆境が現れるのです。

順境すなわち、物事がうまくいっているときに、  
驕り高ぶって他者を軽視したり、  
感謝を忘れたり、  
他者を傷つけたりしたときは、  
逆境の時期が来たときに、一気に噴出します。

他者から軽視されたり、感謝されなくなったり、  
他者から傷つけられたりと、  
すべて他者に対して行った負の原因が結果を結び、  
あなたに襲いかかってくるのです。

ちなみに、順境のときに、  
気を付けて他者をたてていれば、  
逆境の時期がきても、  
特に何事もなく過ぎ去ってくれます。

うまくいっている時こそ、  
順境の時こそ、

驕り高ぶらず、他者に配慮し、  
つつしんで行動しましょう。

そうすれば、逆境そのものを封じこめることができます。

## 61.徳で感化する

徳を積み、人格が練れてくると、  
あなたに接する人達はみな、  
あなたに感化されていきます。

気の荒い人たち、  
犯罪をおかすことに慣れてしまった人たち、  
他者を傷つけずにはおれない人たち、  
自殺ばかり考えている人たち、  
マイナス発想で、後ろ向きな人たち、  
生きる勇気を失った人たち、  
やり場のない悲しみに打ちひしがれている人たち、  
いろいろな人たちがいます。

日本だけでも、  
1億2000万人ほど人がいるのですから、  
それはそれは、  
いろいろな人たちがいます。

しかし、法則にしたがって、  
人格を磨き、  
徳をつんでいく生き方をしている人は、  
その中の3割くらいしかいないでしょう。

多くの人たちが、  
進むべき道がわからなかったり、  
何に従えばいいのか、  
どのように生きていけばいいのか、  
暗中模索の状態です。

人徳を得た人は、  
周囲の人たちを照らします。

人徳を得た人は、

周波数が高いので、  
周囲の人たちの原子や電子や陽子など、  
周波数を上げてしまうことができます。

そうすると、周囲の人たちは、  
徳に感化されて、  
知らない間に周波数が上がり、  
考え方が柔らかくなり、  
前向きな考えをもつようになります。

さらに、自分を許し、  
人を許せるようになります。

大きく進化したいなら、  
徳のある人に多く接し、  
その波動を浴びましょう。  
周波数が一気にあがります。

徳のある人は、周囲の人たちを、  
そばにいただけで知らず知らずの内に感化し、  
彼(彼女)に接する人たちは、  
それだけで彼(彼女)の恩恵にあずかれるのです。

## 62. 誠実の美德

人間関係においては、  
可能な限り誠実を貫きましょう。

もちろん、誠実さも行き過ぎると、  
問題が起こることがありますので、  
よくよく注意が必要です。

なぜなら、行き過ぎはどんなことでも  
不調和を引き起こすからです。

しかしながら、やはり誠実さは、  
たくさんの人を惹きつけます。  
逆に、不誠実さは、たくさんの人を遠ざけます。

誠実さを具体的に言いますと、  
嘘をつかず、正直であることです。  
そして、思いやりがあって、実直であることです。

嘘をつくと、そこで人間関係が壊れることが多いです。  
嘘をつかれたことを知ると、  
たいていの方は激怒します。

また、原因と結果の法則により、  
後ほど、自らが嘘をつかれることになります。

いつも誠実であれば、人からの信用を得て、  
人脈が広がり、協力者が増えていきます。  
そして、たくさんの恩恵を得ることができます。

また、原因と結果の法則により、  
後ほど、あなたの周りに、  
誠実な人ばかりが集まってきます。

可能な限り、行き過ぎない程度に  
誠実さを基盤として生活していきましょう。

誠実さは美徳であり、  
自他ともに多くの恩恵をもたらす性質です。

### 63. トラブルのある部分がフォーカスされて気になる

「気になる」ということは、実はとっても大切です。

なぜなら、そこに問題があると、  
天が教えてくれているからです。

逆に、全く問題ない部分やことがらは、  
気にならないし、感じません。

たとえば、体のどこかが悪い場合、  
その部分が痛みます。  
そして、その部分ばかりが気になります。

反対に、健康なときは、  
体があるように感じません。

どこにも痛い部分がないので、  
体に意識のフォーカスが行きません。

このように、健康で、どこにも問題がないときは、  
その存在を感じないのです。

これは、心にも同じことが言えます。  
苦しいとき、苦しんでいる心に意識のフォーカスが行きますので、  
心はとてもしリアルに存在するかのようになります。

また、悩みや問題があるときは、  
思考が入り乱れて、  
あれこれと考えるので、  
思考の存在がリアルに感じ取れます。

何かトラブルがあると、  
その部分の存在を感じるのです。

体と同じように、心も健康であれば、  
心の存在も感じなくなります。  
これが無心の状態です。

気になって仕方が無いことは、  
できるだけ早く対策をたてて、  
問題解決にのりだしましょう。  
放置しておいても気になり続けます。

また、内観を行きましょう。  
そうすると、心が健康になり、  
悩みや痛みが取り除かれていきますので、  
心は無くなります。

存在を感じないのです。  
これが、禅で言う、無の境地です。

無心のとき存在するのは、  
純粹でクリアーな意識のみです。

## 64. 苦は楽の種、楽は苦の種

人は、苦しいことを嫌がります。  
そして、楽しいことを好みます。

でも、実際には、苦楽はコインの裏表であり、  
苦は楽に変わっていくし、  
楽は苦に変わっていきます。

ですから、苦しみと楽しみは、  
別々のものではありません。  
実は合わせて一つなのです。

苦しみがやってきても、  
永遠に苦しみ続けることはありません。  
なぜなら、楽しみが出番を待っているからです。

また、楽しみが、  
永遠に続くこともありえません。  
なぜなら、苦しみが次の出番を待っているからです。

これは、ちょうど、  
朝が来ても、いずれは夜になり、  
夜が来ても、いずれは朝になるのと同じです。

朝と夜に境界はないし、  
苦と楽にも境界はありません。  
その両極端をいったりきたりします。

苦しみがやってきたときは、  
やがて楽しみがやってきますので、  
へこたれずにがんばっていきましょう。

楽しみがやってきたときは、  
やがて苦しみがやってきますので、

覚悟して臨みましょう。

調和とバランスの法則により、  
必ず振り子が振れるからです。

## 65.ユニークな存在であることを再認識し、

### 嫉妬心を超えていこう

一人一人がとてもユニークな存在です。  
同じ人はいません。  
そして、みな、違う花を咲かせる運命を持っています。

このことを心から理解すると、  
嫉妬心が消えていきます。

嫉妬心は、  
同じ地平で競争しているという感覚からやってきます。

同じ環境下で同じものを目指していると、  
競争感覚が芽生え、どうしても嫉妬心が湧いてきます。

嫉妬心とは、他者との競合に打ち勝ち、  
自らが生き延びるための本能です。  
あらゆる動物が持っている生存本能の一つですね。

でも、高度に発達した人間社会では、  
本能のままに行動するとうまくいきません。  
理性的、意識的に生きるとうまくいくようになっています。

動物的本能で生きる人生から、  
より高次の理性、意識を発達させた人生に  
レベルアップできるように、  
こんなところまで、天のはからいが行き渡っています。

お互いを伸ばすという意味では、競争はいいものです。  
でも、競争がメインとなる時代は過ぎ去ろうとしています。

いかにユニークさを表現し、  
自分に与えられた使命を果たすか、

天から与えられた運命をまっとうするか、  
そういったことが求められてきています。

嫉妬心を超えていきましょう。

男女間の嫉妬はかわいいものです。  
それは別としまして、  
生きる上でのあらゆる羨望、嫉妬の源を、  
できるだけ絶っていきましょう。

それは、物事のとらえかたから生まれてくるものです。

高次の意識を発動し、  
自らのユニークさを再認識することで、  
嫉妬心は消えていきます。

そして、そうすることで、  
人間社会をよりスムーズに渡っていけるようになります。

## 66.形のないもの、目に見えないものが重要

世の中の現象のほとんどは、  
形あるものよりも、  
目に見えないもの、形の無いものによって、  
動いていきます。

ちなみに、契約書やさまざまな書類や法律などは、  
形の無いものを無理に形にしたものですが、  
とても大きな力を持っています。

人の心や根源法則、  
想念や感情の世界が、  
すべてを動かしています。

内観を行うと、形がなく、  
目に見えないものに敏感になっていきます。

目に見えないものの動きを捉えられるようになると、  
現象の本当の理由、原因が分かるようになります。

そして、それが見えるようになると、  
大過なく生きていたり、  
平安に生きるための術を身に付けることができます。

なぜなら、混乱やトラブルの原因が分かり、  
最初からその原因の芽を摘んでおくことが  
できるからです。

形の無いもの、目に見えないものが、  
とても重要です。  
その部分がクローズアップされる時代になりました。

物事が現象化した時は、すでに結果であり、  
原因は、形の見えないもの、想念にあることを、

念頭において生活していきましょう。

「はじめに言葉(想念)ありき」です。

## 67.天の道にえこひいきなし

天の道は、ある人だけに親しむような、  
えこひいきをしません。  
いつも善人の味方になります。

ここでいう善人とは、他者に与える人を行っています。  
他者を気遣い、他者に多くを与える人です。

天の道とは、原因と結果の法則をあらわしています。  
天道とは、この世界を支配している法則です。

法則は、感情もなく、えこひいきもなく、  
ただただ淡々と、法則どおりに現象を起こしていきます。

とても数学的に、物理学的に、  
現象は起きてきます。

自分のしたことは、必ず自分に返ってきます。  
そこにえこひいきはありません。

他者を傷つけたけど、  
この人は親しいので特別に許してやろう、  
といったことは、天の道では起こり得ません。  
必ず、その人に報いが返ってきます。

そういった意味では、とても公平です。  
天道に不公平はありません。

善人、他者に奉仕する人には、  
必ず、天が味方します。

ときどき、不公平に見える場合でも、  
よくよく注意してみていくと、やはり、  
公平に、原因と結果の法則どおりに、

結果が返ってきています。

天の道は、数学的、法則的に、  
感情をさしはさまず、  
厳格に結果を生じていきます。

原因と結果の法則にしたがって、  
生活していきましょう。

## 68.天の網からは逃れられない

中国古代の聖人である老子は、  
「天網(てんもう)は恢恢(かいかい)として、  
疎(そ)にして失わず。」という  
言葉を残しています。

天の網は、とてもおおまかにつくられていて、  
おおざっぱです。

でも、どんな小さな物事も逃しません。  
必ずとらえます。

老子は、原因と結果の法則を、  
天の網と表現しています。

原因と結果の法則をみると、  
目に見えないほどおおざっぱで、  
大きな網ですが、  
どんな小さな行為でも見逃しません。  
必ず、結果となって返ってきます。

マクロの世界から、ミクロの世界まで、  
あまねく行き渡っていて、  
決して逃しません。

天の網、すなわち、  
原因と結果の法則からは、  
逃れることはできないのです。

原因と結果の法則、すなわち天の網の存在を  
日々感じながら過ごしていきましょう。

## 69.時間が早く過ぎることと、そうでないことの違い

楽しいとき、時間は早く過ぎます。

辛いとき、時間はゆっくり進みます。

うまくいっているとき、時間は早く過ぎます。

うまくいかないとき、時間はゆっくり進みます。

何かの抵抗があるとき、

その存在がはっきりとフォーカスされ、

浮かび上がるからです。

電気が流れる時に、抵抗物質がある部分に電流が留まり、

熱を発するのと同じような現象です。

辛いときは、そこに抵抗が生じます。

そして、そこでエネルギーがせき止められます。

その時に、その抵抗の存在がはっきりと認識されるのです。

逆に、楽しいとき、うまくいっているときは、

エネルギーはスムーズに流れ、抵抗はありません。

ですから、その存在は感じ取れません。

このように、抵抗があればあるほど、

その存在を強烈に感じるようになります。

時間の場合も、その存在を認識するかしないかで、

長く感じられたり、短く感じられたりするのです。

この現象を使うと、たとえば、

恋人と一緒にいるときが長く感じられるかどうかで、

どれくらい楽しんでいるかがわかります。

また、仕事をしているときに、

時間の過ぎるのが速いか遅いかで、

その仕事を楽しんでいるのかどうかを試すことができます。

あまりにも仕事をしている時間が、  
長く感じられて仕方がないという場合は、  
その仕事が、あなたの適性にあっていない可能性が高いです。

仕事に辛さはつきものですが、限度を超している場合は、  
体を壊したり、能率が上がらなくなったりしますので、要注意です。  
できるだけ、仕事を楽しめるようにやり方を工夫しましょう。

しかしながら、仕事が自分に根本的にあっていない場合は、  
職種を考え直すことも必要かも知れません。  
もちろん、そう簡単にはいかないのも仕事ですが。

## 70.周波数が上がると受信する思考のレベルが上がる

考えようと思わなくても、  
思考はやってきます。  
じっと自分の頭の中を観察していると分かります。

本当にこれは、自分が考えているのか、  
と言いたくなるような、  
崇高な考えが湧きあがったり、  
また、危険な考えや、攻撃的な考えが  
やってきたりします。

なぜかと言いますと、  
脳はラジオのような働きを持っているからです。  
いろいろな思考を受信するのです。

ですから、自分では考えるつもりがないのに、  
思考がやってくるという現象が発生します。

自分自身の周波数上がり、  
人格が練れてきますと、  
素晴らしい考えが飛び込んでくるようになります。  
愛にあふれた考えです。

なぜなら、高い周波数は、  
ラジオのチャンネルのように、  
高くて崇高な思考を受信するようになるからです。

逆に、人格が練れていなくて、  
周波数が低い場合は、  
ラジオのチャンネルのように、  
危険な、攻撃的な考えや、  
目をそむけたくなるような思考を受信してしまいます。

私達の脳は、ラジオのように、

思考を受信する機能を持っているのです。

ですから、人格を磨き、  
周波数を上げていきましょう。

そうすれば、素晴らしい思考がやってきて、  
それに素晴らしい行動が伴ってきます。

人格を上げ、周波数を上げるには、  
内観が役に立ちます。

また、自分の直感や、  
内なる声にしたがって行動したり決断すると、  
周波数が急激に上がっていきます。

できるだけ自分自身の周波数を上げていくよう、  
修養を積んでいきましょう。

## 71.優れた人物には、水の性質が現れる

人格が練れた人物は、  
心がまるで水のようにです。

とても淡くて、あっさりとしています。  
とてもシンプルで、それでいて味わい深いのです。

水は、あまり味がしません。  
でも、誰からも必要とされます。  
動植物にとっても水は必要です。

よく味わってみると、淡い味がします。  
その味は、とても奥深いものです。

人格が練れた人物は、  
心の中の不要なものが無くなり、  
意識そのものが発達してきます。  
ですから、思考でコテコテしていません。

また、あっさりとしていて、  
周りとは争いません。  
こだわりがなく、淡々としています。

水のような心、  
これが最上です。

誰とも争うことなく淡々と流れ、  
そして、下へ下へと向かっていきます。

何に逆らうというわけでもなく、  
ただただ流れていきます。  
そして、大海に流れ込み、万物を育むのです。

自分の心を観察してみましよう。

水のような性質が出てくれば、本物です。

## 72.たくさんの知識と知恵があっても

### 馬鹿なフリをしているのが最上

たくさんの知識と知恵を持っている人は、  
馬鹿なフリをしているのが最上です。

知識と知恵を持っていると、  
ついひけらかしたり、  
他者を軽んじたりしてしまいます。

そうすると、他者からは、  
嫌悪されたり毛嫌いされて、  
人間関係がうまくいかなくなります。

馬鹿なフリをしておけば、  
とてもうまくいきます。

知識と知恵は、本当に必要な時だけ使えばいいので、  
不要なときにひけらかす必要はありません。  
不要なときは、ぼけーっとしておればいいのです。  
口でも開けておきましょう。

ときには小さな失敗をやらかしましょう。  
くだらないギャグやジョークの一つも飛ばしましょう。

なまじっか知識と知恵があると、  
有力者からは警戒されますし、  
周囲からは付き合いづらい人物と  
判断されてしまいます。

でも、馬鹿なフリをしていれば、  
周囲の警戒心を解きほぐすことができます。

周囲に警戒されているようでは、

活動にいろいろな制約がでてしまいますので、  
馬鹿なフリはとても大切です。

## 73.徳が才能を支配する主人にしておかないとならない

徳、人間性と才能がうまく噛みあえば、  
とても大きな効果を生みます。

しかし、才能が徳を超えて大きくなると、  
コントロールがきかなくなって、  
大変なことになります。  
「才子、才に倒れる」ということになってしまいます。

才能が先走ってしまうと、  
大きな失敗をしてしまったり、  
周りからつまはじきにされたりと、  
取り返しのつかないことになることが多いので、  
注意が必要です。

いつも、才能よりも  
人間性が優っているように努めましょう。

才能を磨くのはとても大切なことです。  
しかし、人間性を磨くことも同時に行っていないと、  
偏って、失敗を招いてしまいます。

人間性が高く優れていれば、  
少々才能がなくても、  
社会から必要とされ、尊ばれます。

しかし、人間性が欠けていれば、  
どんなに才能があっても  
社会から取り除かれてしまいます。

才能と人間性であれば、  
人間性を磨くことの方が大事です。

優先順位は、常に人間性におきましょう。

徳、人間性が主人である状態を保てば、  
大過なく進んでいけるのです。

## 74.人生を皆、何度も経験している

人は皆、人生を何度も経験してきました。

一般的には、50回から60回は、  
生まれ変わりを経て、経験してきました。  
ですから、皆、人生の大ベテランばかりです。

才能がないとか、生きる力がないとか、悩む必要はありません。  
何十回もの人生で、生き延びる術を、  
皆、つかみとって来ているのですから。

才能もいろいろと開花させてきています。  
今回の人生で、いかにその才能を思い出し、  
さらには、過去生のレベルまでたどりなおし、  
その上で、今回の人生分を上乗せできるかが問題となります。

才能のない人なんていません。  
何らかの得意分野をもっているはずですよ。

なぜなら、50回も60回も生きてきて、  
何の能力も身に付けられないというのは、  
あり得ないことだからです。

生きのびることだけで、  
それだけで、ずいぶんな才能を必要とします。

才能がないと悩まないようにしましょう。  
忘れていただけなのですから。

ちなみに、生まれつき才能のある人は、  
過去生で大変な努力をして、  
その才能をつかみとってきています。

## 75.大賢は愚なるが如し

単に賢い人は、賢く見えます。  
単に愚かな人は、愚かに見えます。

しかし、本当に賢い人、大賢は、  
愚かに見えます。

本当に賢いと、常識を超えていきます。  
そして、論理の世界から、  
イメージ、感覚の世界へと進んでいきます。

そうすると、常識離れした言動をしたり、  
ぼんやりしていることが多くなります。

本当に賢い人の顔を見ると、  
ぼんやりしていて、とても愚かに見えます。  
でも、満たされているように見えます。

本当に賢い人は、  
賢さをひけらかしません。  
表に出そうとしません。

また、華やかさを嫌い、  
地味な格好をしていることが多いです。

ですから、本当に賢いのかどうか、  
分かりにくいのです。

愚かに見える人がいても、  
大賢かも知れませんが、  
人を判断するときは、  
よくよく注意して観察するようにしましょう。

## 76.人格者は柔らかく、そばにいて楽しい

人格者と呼ばれる人たちは、  
決まって、考え方や行動が柔らかくて謙虚です。

雰囲気も柔らかく、  
そばにいと、楽しい気分になります。  
それでいて、威厳があります。

人は成長すると、  
周波数が上がって、柔らかくなります。

氷の周波数が上がると、水になります。  
水の周波数が上がると、水蒸気になります。  
原理としては、人の場合もほとんど同じです。

成長すればするほど、  
人は、水のように柔らかくなっていくのです。

そして、成長が進み、極まったとき、  
液体のような柔らかさから、  
気体の性質へと、変化します。

これが、悟りです。  
自分を失います。  
気体になるのです。  
消えてしまうのです。

成長段階の低い人は、  
固くて、頑固で、  
譲りません。  
周波数も低いです。  
しかし、いずれは柔らかく、丸くなっていくのです。

成長して、人格者になろうと考えるなら、

まずは、水のような柔らかさを目指しましょう。

そして、それができれば、

次は、水蒸気のような身軽さを目指しましょう。

## 77.やるべきことを行えば、次にすべきことが見えてくる

現時点で、やっておかないといけないことは、たくさんあります。

ほとんどの人が、そうです。  
やるべきことは、たくさんあるはずですよ。

でも、そのままやらずに放って置くと、  
何度も何度も気になって仕方がなくなります。

ですから、まずは、  
やらないといけないことを片付けてしまいましょう。

そうすると、すっきりします。  
さらに、次に何をすべきかが、  
ぼんと思い浮かびます。

ある段階ごとにやるべきことが違うので、  
ひとつクリアするごとに、  
次にやるべきことが見えてきます。

ですから、やるべきことを放って置いて、  
次にやるべきことを考えても、  
的外れなことが多いです。

まずは、やるべきことを片付けてしまいましょう。  
すると、自然と次のやるべきことが思い浮かびます。  
さらにレベルアップしたやるべきことが見えてくるのです。

## 78. 譲る心を大切に

人づきあいがうまく人は、  
決まって譲る心を持っています。

逆に、人づきあいがうまくいかない人は、  
決まって、譲る心を持ち合わせていません。

どうして、譲る心が必要なのでしょうか。  
答えは、原因と結果の法則にあります。

この世界には、原因と結果の法則が流れています。  
ですから、人に対して行ったことは、必ず返ってきます。

譲るということは、与えることです。  
ものや機会や、気持ちの面でも、  
与えるということです。

与えれば、原因と結果の法則により、  
確実に与えられます。

さらに、相手からは好感をもたれます。  
そして、善循環がはじまります。

逆に、譲らないということは、  
ものや機会や、気持ちの面でも、  
それは、私のものだと言主張し、  
与えないし、与えたくないという表現なのです。

さらには、  
相手の機会やものを、  
できれば奪ってしまおうというニュアンスも入っています。  
そうすると、原因と結果の法則がはたらき、  
与えないので、与えられないし、  
奪うので、奪われるのです。

さらに、相手からは、嫌悪感をもたれます。  
そして、悪循環が始まります。

譲る心を大切にしましょう。  
自分自身のためです。  
人づき合いを円滑にするためです。

## 79.縁とは何か

原因と結果の法則により、  
他者に何かをしたときは、  
原因エネルギーとして、  
結果を生じるまではずっと残ります。

その原因エネルギーの残ったものが、  
縁と呼ばれるものです。

生まれ変わりを通して、  
死後も持ち越していきます。

それが、縁です。  
袖触れ合うも他生の縁という言葉もあります。

人と人とのつながりは、  
縁がなければ成立しません。

また、人と人とのつながりだけでなく、  
人と土地、物、組織、国なども、  
縁がなければ成立しません。

原因と結果の法則により、  
あることを他の人や物にはたらきかけますと、  
それが原因となって必ず本人に戻ってきます。

そして、それが返ってくるのは、  
若干、時期的に遅れます。  
その間は、原因のエネルギーとして、  
空間に残ります。  
このエネルギーが縁です。  
反作用を起こそうと待っているエネルギーです。

縁とは何か。

それは、原因と結果の法則により、  
原因に対して結果を起こそうと待っている  
エネルギーと言えます。

結果としての現象が発生して、  
そのエネルギーが尽きれば、  
縁としての関係性は無くなります。  
すなわち、縁が切れるのです。

## 80. ことばの恐ろしさを知る

人は、ことばによって、  
一喜一憂します。

また、ことばによって、  
希望に燃えて頑張ったり、  
意気消沈して、落ち込んだりします。

「はじめにことばありき」です。

何よりも本質的なのは、ことばなのです。  
まず、ことばから始まります。

そして、ことばや想いが現実化し、  
現実が現れるのです。

ですから、ことばの威力を知る必要があります。  
プラス発想も大切です。

他者に対して悪意のある言葉、  
やる気をなくさせる言葉を  
決して言わないようにしましょう。

そのことばによって、  
その人の人生がだめになってしまうことも  
十分あるのです。

ある人にけなされたために、  
自殺してしまったという人もいます。

また、ある人にほめられたばかりに、  
一生懸命にその道を極め、  
その道の第一人者となったという方が  
数多くいます。

ほめられると、  
やる気がとても出てきます。

自分自身の思考を注意深く見守りましょう。  
そして、プラス思考に持っていきましょう。

マイナス思考は危険なものです。  
自分に刃を向けているようなものです。

また、他者に対しては、  
プラスのことば、  
やる気の出ることば、  
ほめことばを発するように  
心がけていきましょう。

そうすれば、あなたは、  
たくさんの人の役にたてます。

みんな、頑張るきっかけが必要なのです

## おわりに

PDF版無料レポート第4巻

<総まとめ>根源法則と原因と結果の法則は、いかがでしたか。

いままでのメルマガをまとめて、編集したものになりました。

何かのお役にたてれば幸いです。

また、いろいろと作っていきます。

それでは、またお会いしましょう。

牧村 和幸